

CHIBA PREFECTURAL MUSEUM OF ART  
千葉県立美術館 年報 No.37 〈平成22〉

April 2010 — March 2011

ANNUAL BULLETIN OF CHIBA PREFECTURAL MUSEUM OF ART



## 目 次

あいさつ	1
沿革	2
平成 22 年度主要記事	4
展示事業	
1 平成 22 年度アート・コレクション展	6
2 平成 22 年度企画展	12
3 第 34 回千葉県移動美術館	14
普及事業	
1 企画展「日本赤十字社所蔵美術展」・「不破章展」関連事業	16
2 ワークショップ	17
3 実技講座	18
4 学習支援事業等	19
5 活動協力等	21
博物館実習・美術館友の会・ボランティア・複製画の貸出・情報資料室	
調査・収集活動	
1 平成 22 年度貸出資料一覧	24
2 平成 22 年度新収蔵資料一覧	25
3 平成 22 年度収蔵資料数一覧	26
管理運営・使命	
1 組織	28
2 平成 22 年度職員	29
3 利用状況	30
4 平成 22 年度団体展一覧	31
5 施設	33
利用案内	37





## あ い さ つ

本館は昭和 49 年の開館以来、地域美術館及び近代美術館としての活動を通し、県民の皆様のさまざまな美術に対する要望にお応えできるよう努めておりますが、この度、平成 22 年度の千葉県立美術館における活動の実績を、年報としてまとめました。

平成 22 年度の展覧会では、企画展として「日本赤十字社所蔵美術展～あなたに届けたい、人道への思い～」 「不破章展 旅・ひと・自然―水彩画の即興詩を歌う」を開催し、好評を博しました。また、34 回目となる移動美術館については酒々井町中央公民館を会場に開催しました。

本館が収蔵する作品の展示については、種々のテーマに基づいた収蔵作品による「アート・コレクション展」を年間を通して開催しました。

このほか、美術についての理解を深め、作品鑑賞の一助とするため、展覧会に関連した美術講演会やギャラリートークを開催しました。

さらに、こどもたちに創作の喜びや美術館活動に対する理解を深めてもらうため「ワークショップ」、「美術館体験学習」、「おもしろ鑑賞教室」などを実施したほか、学校での出前授業として「出張鑑賞教室」にも取り組みました。また、県民の皆様への美術創作への意欲にお応えできるよう美術の各分野にわたる実技講座も実施しました。

作品収集にあたりましては、収集基本方針に基づき、作家や所蔵家の方々の協力を得ながら、コレクションの体系化とその充実を図りました。

今後とも、関係諸機関や各団体をはじめ、県民の皆様方の指導と支援をいただきますようお願い申し上げます。

平成 24 年 3 月

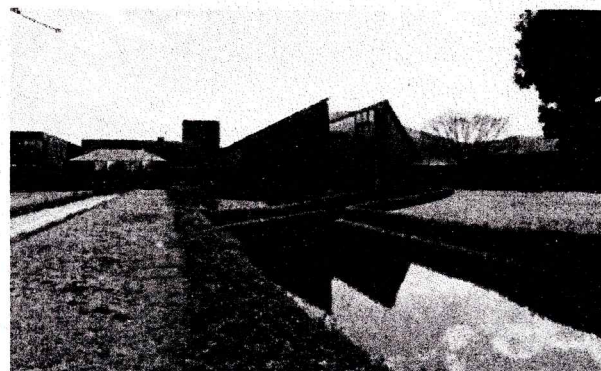
千葉県立美術館長  
玉 浦 洋 子

## 沿革

1969年12月9日	第1回千葉県立美術館建設懇談会を開催(委員15名)	1978年10月17日	美術普及棟建築予算を計上
1970年1月19日	県立美術館建設の請願書が2月県議会で採決	1978年11月18日	浅井忠像完成除幕式
1970年7月24日	建設地として千葉公園内に内定	1978年11月30日	美術普及棟実施設計完了
1970年11月12日	第1回美術館設置準備専門委員会を開催(委員10名)	1979年1月8日	美術普及棟を県民アトリエ棟と改称
1971年3月31日	千葉公園内の美術館基本構想成立	1979年3月5日	県民アトリエ棟建築工事請負契約議案可決
1971年6月24日	体育館移転問題等で千葉公園内建設が不可能となる代案として千葉市中央港埋立地を提示	1979年3月22日	県民アトリエ棟建築工事着工(監理・大高建築設計事務所、施工・株式会社竹中工務店)
1972年1月5日	建設地を千葉市中央港の埋立地に決定し、使用について開発庁長と教育長で覚書を交換	1980年2月29日	県民アトリエ棟竣工
1972年3月31日	基本設計完了(株式会社大高建築設計事務所)	1980年3月16日	県民アトリエ棟完成記念講演会
1972年7月31日	展示棟第1期工事の実施設計完了	1980年4月1日	千葉県美術品取得基金条例施行
1972年9月21日	展示棟杭打工事着工	1980年9月9日	県民アトリエ棟情報資料室開設
1972年10月13日	展示棟建築工事請負契約議案可決	1983年7月29日	美術普及コーナー開設
1972年12月10日	展示棟建築工事着工(監理・大高建築設計事務所、施工・株式会社竹中工務店)	1983年11月22日	開館10周年と県展開催35周年を記念した記念碑建立
1973年4月1日	文化課に美術館準備室を置き、開館事務開始	1986年3月25日	展示棟、収蔵庫、機械室増築工事設計予算化
1973年11月30日	管理棟(第2期工事)の実施設計完了	1986年4月10日	入口門扉4ヶ所設置
1974年3月31日	展示棟竣工	1986年4月23日	美術館西側沿道寄り生垣植栽
1974年4月1日	千葉県立美術館発足(職員14名)	1986年8月12日	講堂浸水防止工事完了
1974年10月23日	開館記念式典開催	1987年3月25日	機械室増築基本設計及び展示棟、収蔵庫、機械室増築工事実施設計完了
1975年2月21日	管理棟杭打工事着工	1987年10月15日	展示棟、収蔵庫、機械室増築工事着工(監理・大高建築設計事務所、施工・株式会社竹中工務店)
1975年3月13日	管理棟建築工事請負契約議案可決	1988年5月20日	受水槽設備改修工事(地上式)着工
1975年3月16日	管理棟建築工事着工(監理・大高建築設計事務所、施工・株式会社竹中工務店)	1988年8月31日	受水槽設備改修工事(地上式)完了
1976年2月20日	管理棟竣工	1988年8月31日	展示棟(第8展示室)、収蔵庫(第3、4室)、機械室増築工事完了
1976年3月2日	管理棟完成記念特別展「浅井忠とその師弟展」を開催	1989年2月28日	増築展示棟周辺芝張り工事完了
1976年6月7日	寄付によって、正面玄関植栽	1989年4月1日	普及課が新設され、3課で業務実施
1977年3月12日	彫刻の野外展示開始	1989年4月20日	開館15周年記念特別展「房総と近代美術」を開催
1977年4月10日	展示棟の一室に美術普及室を開設	1989年9月11日	空調機改修工事実施設計完了
1978年1月18日	外構工事として、駐車場拡張(97台)	1990年6月8日	空調機改修工事計完了
1978年2月21日	美術普及棟の準備会発足	1990年9月29日	収蔵庫(第1、2室)冷凍機改修工事着工
		1990年11月7日	室内標識改修工事着工
		1991年1月31日	収蔵庫(第1、2室)冷凍機改修工事完了
		1991年2月20日	室内標識改修工事完了
		1991年12月6日	空調用ポンプ改修工事完了



1992 年 4 月 1 日	運営の一部が（財）千葉県社会 教育施設管理財団へ委託
1992 年 10 月 20 日	温湿度記録装置改修工事完了
1992 年 12 月 18 日	食堂改修工事完了
1994 年 7 月 23 日	開館 20 周年記念特別展「房総 の美術」を開催
1998 年 2 月 23 日	ガス設備改修工事完了
1998 年 12 月 24 日	空調設備改修工事完了
1999 年 6 月 5 日	開館 25 周年記念特別展「ヒュー ストン美術館展」を開催
2000 年 3 月 30 日	屋根材剥落補修工事完了 点字ブロック設置工事完了
2000 年 7 月 31 日	文部省委嘱事業「親しむ博物館 づくり事業」受託
2001 年 3 月 29 日	屋根材剥落補修工事（第 7 展示 室）完了
2002 年 3 月 25 日	屋根材剥落補修工事（第 6 展示 室）完了
2002 年 3 月 25 日	非常灯用直流電源装置改修工事 完了
2002 年 3 月 25 日	防犯カメラ改修工事完了
2003 年 3 月 25 日	空調設備改修工事実施設計完了
2003 年 7 月 10 日	空調設備改修工事完了
2004 年 4 月 18 日	来館者 500 万人達成
2004 年 11 月 27 日	開館 30 周年記念企画展「漁民 を描く - 渡辺學の世界」を開催
2005 年 8 月 20 日	空調インバータ装置改修工事完 了
2006 年 3 月 21 日	電話装置改修工事完了
2006 年 3 月 31 日	アトリエ棟空調機修繕工事完了
2006 年 3 月 31 日	（財）千葉県社会教育施設管理財 団への運営委託終了
2009 年 3 月 31 日	空調設備修繕工事完了
2010 年 3 月 25 日	耐震補強事前調査完了
2010 年 12 月 17 日	耐震補強設計開始

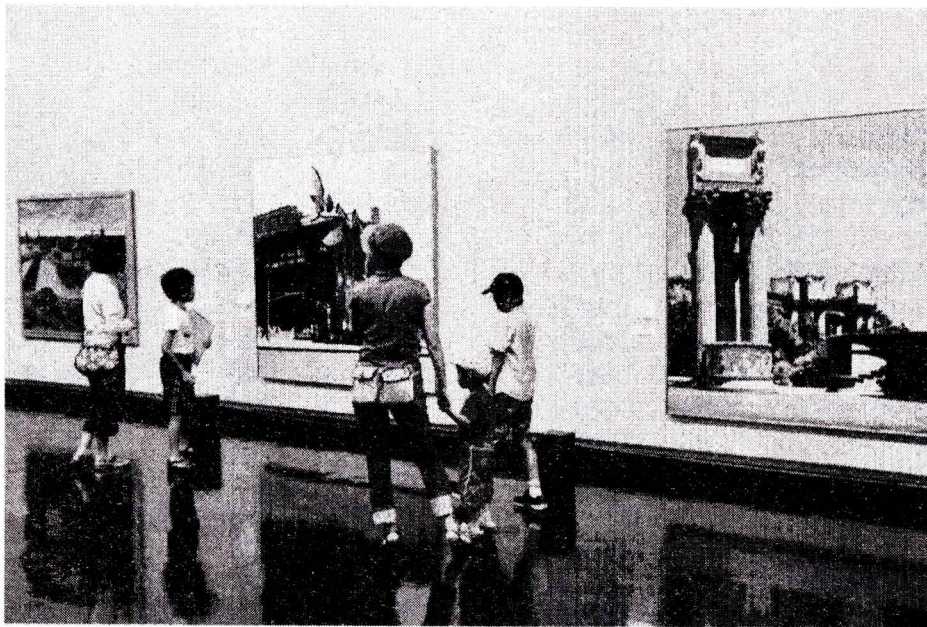


## 平成 22 年度主要記事

4月1日	アート・セレクション「コレクション50」より(～4/11)	9月7日	アート・コレクション「針生鎮郎」(～10/11)
4月1日	アート・コレクション「鶴田吾郎」(～4/18)	9月7日	アート・コレクション「富取風堂」(～10/11)
4月1日	アート・コレクション「彫刻」(～4/18)	9月11日	アート・コレクション「水彩画の魅力」(～10/11)
4月1日	アート・コレクション「モノクロームの版画」(～4/25)	9月18日	100人ワークショップ 等身大から始めよう
4月1日	アート・コレクション「浅井忠・フォンタネージとバルビゾン派」(～10/11)	9月23日	第5回ワークショップ「親子でクラフト②」
4月13日	アート・コレクション「中西利雄」(～5/16)	10月2日	第6回ワークショップ「モノレール・デコレーション」車両基地のモノレールを飾ろう
4月13日	アート・コレクション「鍔金家・香取秀真」(～5/16)	10月9日	美術館講座展覧会(～10/11 日数3日間)
4月20日	みんなの県美 紹介ウィーク(～4/25)	11月3日	実技講座「銅版画講座」(～11/18 日数6日間)
4月24日	コンサート 茂木うららりサイタル in 千葉県立美術館	11月20日	ホリデーアート「木版画講座」(～11/23 2日間)
5月1日	「日本赤十字社所蔵美術展」(～5/30)	11月27日	関博協共同企画展「描かれた房総」(～1/16)
5月15日	第1回ワークショップ「つないで～ビッグペイント・あーと」	11月27日	アート・コレクション「浅井忠の周辺作家」(～1/10)
5月18日	実技講座「陶芸講座(応用)」(～6/25 日数7日間)	11月27日	アート・コレクション「浅井忠・フォンタネージとバルビゾン派」(～1/16)
5月18日	アート・コレクション「描かれた房総」(～7/19)	11月27日	アート・コレクション「書之美」(～1/16)
5月18日	アート・コレクション「青木滋芳の染色」(～7/11)	12月1日	第34回千葉県移動美術館(酒々井町中央公民館)(～12/12 日数12日間)
6月5日	アート・コレクション「新収蔵作品展」(～7/11)	12月4日	移動展ギャラリートーク
6月5日	アート・コレクション「描かれた女性たち」(～7/19)	12月4日	第7回ワークショップ「その場で・アート」自由参加のワークショップ
6月12日	第2回ワークショップ「県民の日・その場で・あーと 遊びとアートの空間」	12月14日	アート・コレクション「彫刻」(～4/10)
6月24日	第3回ワークショップ「染色工房」	1月18日	実技講座「金工講座」(～2/3 日数6日間)
6月29日	実技講座「陶芸講座(基礎)」(7/29～日数6日間)	1月22日	企画展「不破章展」(～2/27)
7月13日	アート・コレクション「浅井忠の日本画と工芸」(～9/5)	1月23日	企画展「不破章展」ギャラリートーク①
7月17日	アート・コレクション「こどものための展覧会-空の表現-」(～9/5)	1月29日	美術講演会「日本の水彩画と不破章」
7月21日	アート・コレクション「大久保作次郎」(～9/5)	1月30日	企画展「不破章展」ギャラリートーク②
7月24日	アート・コレクション「工芸の技と美」(～10/11)	2月5日	ニューフィルコンサート
7月24日	高校生によるサマーコンサート	2月6日	企画展「不破章展」ギャラリートーク③
7月27日	教師のためのアートガイダンス	2月8日	実技講座「篆刻講座」(～2/25 日数5日間)
7月29日	博物館実習(～8/3 日数6日間)	2月11日	第8回ワークショップ「にじいろパレット」企画展スペシャルワークショップ
7月31日	第4回ワークショップ「わくわくどきどきなつやすみ・あーと」	2月13日	企画展「不破章展」ギャラリートーク④
8月16日	高校生インターンシップ(～8/17 日数2日間)	2月20日	企画展「不破章展」ギャラリートーク⑤
9月4日	第5回ワークショップ「親子でクラフト①」	2月27日	企画展「不破章展」ギャラリートーク⑥
		3月1日	美術館実技講座展覧会(～3/6)
		3月5日	アート・コレクション アート・セレクション「コレクション50」より(～4/10)
		3月5日	アート・コレクション「浅井忠・フォンタネージとバルビゾン派」(～3/31)
		3月5日	アート・コレクション「浜口陽三のメゾチント part1」(～4/10)
		3月5日	アート・コレクション「水辺の風景」(～4



◇ 展 示 事 業 ◇



第1展示室 (小展示コーナー)

中西利雄

会 期 平成22年4月13日(火)～5月16日(日)  
点 数 11点  
開催日数 30日間

NO	作家名	作品名	制作年
1	中西利雄	トリエール・シュール・セーヌ	1930
2	中西利雄	南仏風景	1930
3	中西利雄	外房風景	1936
4	中西利雄	曇り日の離宮と駅	1947
5	中西利雄	長崎にて	1936
6	中西利雄	帽子をかぶった女	1935
7	中西利雄	マドマーゼル H(B)	1940～43
8	中西利雄	マドマーゼル H(A)	1940～43
9	中西利雄	T嬢	1935
10	中西利雄	人物	1936
11	中西利雄	四人の女	1939

鑄金家・香取秀真

会 期 平成22年4月13日(火)～5月16日(日)  
点 数 10点  
開催日数 30日間

NO	作家名	作品名	制作年
1	香取秀真	烏銅鳳凰香炉	1911
2	香取秀真	笑獅子香炉	1948
3	香取秀真	美々豆久香炉	不詳
4	香取秀真	瑞鳥飾三足罏	不詳
5	香取秀真	千本松文釜	1934以前
6	香取秀真	鶴文鉄釜	不詳
7	香取秀真	菊文釜	不詳
8	香取秀真	鳳凰文様花瓶	不詳
9	香取秀真	筋入花瓶	不詳
10	香取秀真	六角火鉢	不詳

描かれた房総—海辺の風景—

会 期 平成22年5月18日(火)～7月19日(月・祝)  
点 数 13点  
開催日数 56日間

NO	作家名	作品名	制作年
1	石川 馨	小湊の朝	1999
2	時田直善	貝採り	1978
3	若木 山	安房ノ海処女	1951
4	小堀 進	真夏の海(太海)	1931
5	小山周次	銚子犬吠埼	1961
6	櫻田精一	太海	1953
7	椿 貞雄	犬吠埼	1948
8	寺田政明	犬吠灯台の見える外川港	1985
9	富田通雄	外房鵜原	1964頃
10	松本弘二	海鹿島の夏	1951
11	山谷鉄一	風	1948

12 和田 清 南房江見海岸 1970  
13 ビゴー 稲毛の夕焼け 1892～97

青木滋芳の染色

会 期 平成22年5月18日(火)～7月11日(日)  
点 数 5点  
開催日数 48日間

NO	作家名	作品名	制作年
1	青木滋芳	染色笠森寺	1969
2	青木滋芳	寂	1970
3	青木滋芳	早瀬	1971頃
4	青木滋芳	洞門	1965
5	青木滋芳	黒潮	1977

浅井忠の日本画と工芸

会 期 平成22年7月13日(火)～9月5日(日)  
点 数 25点  
開催日数 47日間

NO	作家名	作品名	制作年
1	浅井 忠	田植之図	1889
2	浅井 忠	松	1892
3	浅井 忠	金州城外之図	1895
4	浅井 忠	狂女	1898
5	浅井 忠	琵琶法師	1902～07
6	浅井 忠	西洋人物群像	1902～07
7	浅井 忠	羊の図	1907
8	浅井 忠	絵皿	1901
9	浅井 忠	茶器	1902～07
10	浅井 忠	農家風俗画手塩皿	1902～07
11	浅井 忠	花瓶	1902～07

【関係資料】

12	浅井 忠	槐庭時代画帳	1860年代
13	浅井 忠	従征画稿	1895
14	浅井 忠	小学画手本	1896
15	浅井 忠	写真(パリにて)	1900～02
16	浅井 忠	寒月・水仙	1900～02
17	浅井 忠	子規居士弄丹青図	1902
18	浅井 忠	写真(京都時代)	1902～07
19	浅井 忠	花木	1902～07
20	浅井 忠	ダチョウ図	1902～07
21	浅井 忠	戸棚図	1902～07
22	浅井 忠	木かげの女	1902～07
23	浅井 忠	黙語図案集	1908
24	浅井 忠	黙語遺響原稿	不詳

大久保作次郎

会 期 平成22年7月21日(水)～9月5日(日)  
点 数 7点  
開催日数 41日間



NO	作家名	作品名	制作年
1	大久保作次郎	庭の木陰	1916
2	大久保作次郎	海水浴帰り	1917
3	大久保作次郎	丘上の鐘楼	1930 頃
4	大久保作次郎	山へ	1940
5	大久保作次郎	ヤッホー	1949
6	大久保作次郎	お茶どき	1950
7	大久保作次郎	風	1955

### 針生 鎮郎

会 期 平成 22 年 9 月 7 日 (火) ~ 10 月 11 日 (月・祝)  
 点 数 7 点  
 開催日数 31 日間

NO	作家名	作品名	制作年
1	針生鎮郎	家族	1963
2	針生鎮郎	いちご畑・ボス	1965
3	針生鎮郎	トリ	1969
4	針生鎮郎	あかい	1983
5	針生鎮郎	たちんぼ	1983
6	針生鎮郎	王と妃・面Ⅲ	1988
7	針生鎮郎	王と妃 (あやとり)	1988

### 富取 風堂

会 期 平成 22 年 9 月 7 日 (火) ~ 10 月 11 日 (月・祝)  
 点 数 8 点  
 開催日数 31 日間

NO	作家名	作品名	制作年
1	富取風堂	游鯉 (其一)	1928
2	富取風堂	游鯉 (其二)	1928
3	富取風堂	朝光	1931
4	富取風堂	葛西風景	1937
5	富取風堂	花	1953
6	富取風堂	親子猿	1964
7	富取風堂	群魚	1967
8	富取風堂	麦秋	1971

### 描かれた房総

会 期 平成 22 年 11 月 27 日 (土) ~ 23 年 1 月 16 日 (日)  
 点 数 19 点  
 開催日数 37 日間

NO	作家名	作品名	制作年
1	無縁寺心澄	旧県庁と噴水	不詳
2	今井謙二	姉ヶ崎	不詳
3	ビゴー	稲毛村のわがアトリエ	1892 ~ 97
4	鶴田吾郎	中山競馬場	不詳
5	石井柏亭	冬の朝	1909
6	大浦掬水	べか舟	1971
7	櫻田精一	水門	1951

8	柴田祐作	白い蔵	1988
9	石橋武治	水辺初夏	不詳
10	十亀広太郎	犬吠埼	不詳
11	堀江正章	耕地整理図	1901 ~ 02
12	前嶋 実	九十九里初夏	1988
13	鳩川誠一	長屋門	1932 ~ 33
14	遠藤健郎	房総線ディーゼル・カーの乗客たち	1997
15	小堀 進	花と海	1974
16	時田直善	崖の観音	1965
17	鱸 利彦	房州伊豫ヶ岳	1970 頃
18	椿 貞雄	鋸山から見た房総半島	1948
19	三田 康	廃墟	1965
27	秋里籬島	『東海道名所図会』第 6 巻から円覚寺	1797
28	東瀧舎巴凌・皆川敬次郎	『鎌倉長谷観世音境内全図』	1895
29	東瀧舎巴凌・皆川敬次郎	『相模国鎌倉名所及江之嶋全図』	1896
30	鈴木卯兵衛・山本良助	『横須賀明細一覽図』	1883
31	石田呼友・小林桃山	『武陽大師河原金剛山平間寺境内全図』	1897
32	亜欧堂田善	『大日本金龍山之図』	不詳
33	昇斎一景	『東京三拾六景 浅草金龍山』	不詳
34	東瀧舎巴凌・小林桃山	『大日本帝国東京金龍山浅草寺之図』(複製)	1898
35	霜崎清・伊東良之助	『上野公園東照宮境内全図』	1896
36	東瀧舎巴凌・小林桃山	『大日本東京芝三緑山増上寺境内全図』	1901

### アート・セレクション

会 期 平成 23 年 3 月 5 日 (土) ~ 4 月 10 日 (日)  
 点 数 19 点  
 開催日数 32 日間

NO	作家名	作品名	制作年
1	香取秀真	菊文笠	不詳
2	香取秀真	龍	1937
3	秋山逸生	菱華文象嵌長手箱	1946
4	高村光太郎	野兎の首	1945 ~ 52
5	東山魁夷	春雪	1973
6	関 主税	晨	1984
7	深沢幸雄	凍れる歩廊 (ベーリング海峡)	1978
8	深沢幸雄	小鳥紳士	1988
9	星 襄一	星の森 (大)	1971
10	星 襄一	王の樹	1976
11	板倉 鼎	静物	1927
12	板倉 鼎	金魚と雲	1928
13	安井曾太郎	熱海附近	1929
14	岸田劉生	霽れたる冬之日	1917
15	ルノワール	少女像	1916 ~ 18
16	梅原龍三郎	竹窓読書図	1937
17	梅原龍三郎	伊豆大仁風景	1929
18	梅原龍三郎	皇居	1980
19	梅原龍三郎	純子像	1968

第2展示室

浅井忠・フォンタネージとバルビゾン派

会 期 平成22年4月1日(木)～10月11日(月・祝)

点 数 18点(4/1～7/19)

17点(7/21～10/11)

開催日数 173日間

NO	作家名	作品名	制作年
1	浅井 忠	藁屋根(4/1-7/19)	1887 頃
2	浅井 忠	漁婦	1897
3	浅井 忠	フォンテンブローの夕景	1901
4	浅井 忠	農婦(4/1-7/19)	1902
5	浅井 忠	老母像(7/21-10/11)	1906
6	浅井 忠	婦人像(4/1-7/19)	1907
7	フォンタネージ	十月、牧場の夕べ	1860
8	フォンタネージ	牛を追う農婦(7/21-10/11)	1862 頃
9	フォンタネージ	川辺の二頭の牛(4/1-7/19)	1865 頃
10	フォンタネージ	池と樹木(7/21-10/11)	1870～72 頃
11	フォンタネージ	森の空き地の農婦(4/1-7/19)	不詳
12	ラヴィエ	モレステル風景(4/1-7/19)	1867～95
13	ラヴィエ	モレステル風景(沼)(7/21-10/11)	不詳
14	ミレー	垣根に沿って草を食む羊	1860 頃
15	コロー	フォンテンブローの風景	1830～35
16	コロー	ナポリ近郊の思い出	1860～65
17	トロワイヨン	河辺の道	1860～65
18	ルソー	バルビゾンの農場	1850～55 頃
19	ドービニー	ヴァルモンドアの小川(4/1-7/19)	1844
20	ディアズ	森の中の農婦	1868
21	デュプレ	森のはずれ	1860 代
22	ジャック	森の中	1871
23	クールベ	嵐(7/21-10/11)	1865 頃
24	クールベ	雪の中の小鹿(4/1-7/19)	1869 頃

会 期 平成22年11月27日(土)～平成23年1月16日(日)

点 数 19点

開催日数 35日間

NO	作家名	作品名	制作年
1	浅井 忠	母の肖像	1899
2	浅井 忠	フォンテンブローの夕景	1901
3	浅井 忠	農婦	1902
4	浅井 忠	老母像	1906
5	浅井 忠	婦人像	1907
6	フォンタネージ	十月、牧場の夕べ	1860
7	フォンタネージ	牛を追う農婦	1862 頃
8	フォンタネージ	木立	1868～72 頃
9	ラヴィエ	モレステル風景(沼)	1867～95
10	ミレー	垣根に沿って草を食む羊	1860 頃
11	ルソー	バルビゾンの農場	1850～55 頃
12	デュプレ	嵐の前	不詳
13	ディアズ	森の中の農婦	1868
14	トロワイヨン	河辺の道	1860～65
15	ジャック	森の中	1871
16	ドービニー	オワーズ川のほとり	1865
17	コロー	ナポリ近郊の思い出	1860～65

18 クールベ 眠る人 1853  
19 クールベ 嵐 1865 頃

会 期 平成23年3月5日(土)～平成23年3月31日(木)

点 数 18点

開催日数 23日間

NO	作家名	作品名	制作年
1	浅井 忠	藁屋根	1887
2	浅井 忠	漁婦	1897
3	浅井 忠	フォンテンブローの夕景	1901
4	浅井 忠	農婦	1902
5	フォンタネージ	十月、牧場の夕べ	1860
6	フォンタネージ	木立	1868～72 頃
7	フォンタネージ	川辺の二頭の牛	1865 頃
8	ラヴィエ	モレステル風景	1867～95
9	ミレー	垣根に沿って草を食む羊	1860 頃
10	ルソー	バルビゾンの農場	1850～55 頃
11	デュプレ	嵐の前	不詳
12	ディアズ	森の中の農婦	1868
13	トロワイヨン	河辺の道	1860～65
14	ジャック	森の中	1871
15	ドービニー	ヴァルモンドアの小川	1844
16	コロー	フォンテンブローの石切場	1835～40
17	コロー	ナポリ近郊の思い出	1860～65
18	クールベ	雪の中の小鹿	1869 頃

第3展示室

新収蔵作品展

会 期 平成22年6月5日(土)～7月11日(日)

点 数 21点

開催日数 32日間

No	作家名	作品名	制作年
1	黒沢吉蔵	遙か安達太良	2005
2	櫻田精一	サンマルコの鳩	1972
3	揚石舒雁	蘇東坡の七言律詩	1991
4	揚石舒雁	七言対句	1993
5	揚石舒雁	會津八一の和歌	1997
6	辻元大雲	日伯移民百年に	2008
7	辻元大雲	春はあけぼの	2009
8	深沢幸雄	廃墟の貌	1955
9	深沢幸雄	愛鳥家	1956
10	深沢幸雄	こぼれ陽	1956
11	深沢幸雄	ダンテ「神曲」地獄篇よりジャンニ・スキッツ	1957
12	深沢幸雄	ダンテ「神曲」地獄篇よりベルトラム・ダル・ボルニオ	1957
13	深沢幸雄	腐爛圈	1960
14	深沢幸雄	眼を開いた佛陀	1969
15	深沢幸雄	掌の中の卵	1978
16	深沢幸雄	窓ガラスの日記	1983
17	深沢幸雄	彼方の天使	1984
18	深沢幸雄	笑いの芽えるとき	1992
19	深沢幸雄	いたづら天使	1992
20	深沢幸雄	風紋の不死鳥	1993
21	深沢幸雄	北方の聖なる詩人 B	1993



こどものための展覧会—空の表現—

会 期 平成22年7月17日(土)～9月5日(日)  
点 数 17点  
開催日数 43日間

NO	作家名	作品名	制作年
1	太田 歳	北海	1979
2	石橋武治	雨の海	1957
3	松本弘二	満潮の頃	1958
4	太田 歳	有明	1968
5	鶴田吾郎	富士山	1951
6	前林章司	クムジュンガからのアマダプラム蜂	1987
7	小堀 進	山	1965
8	小堀 進	大穹	1974
9	石橋武治	高原の朝	1961
10	塩水流功	お風呂わかせておくよ	1974
11	中山爾郎	風渡る	1978
12	中山爾郎	雲と水と北国	1977
13	佐善 明	New York Letter	1984
14	佐善 明	サンフランシスコ屋下がり	1987
15	畠中陽一	アルミネーション—光の誘惑—	1992
16	田中路人	豊漁	1982
17	春日部たすく	縄文の花	1970

水彩画の魅力

会 期 平成22年9月11日(土)～10月11日(月・祝)  
点 数 37点  
開催日数 27日間

NO	作家名	作品名	制作年
1	浅井 忠	沢入駅	1884
2	浅井 忠	瀬家邸天長節祝宴	1894～95
3	浅井 忠	フォンテンブローの森	1901
4	浅井 忠	グレーの塔	1901
5	浅井 忠	京都高等工芸学校の庭	1903
6	牧野克次	松林	不詳
7	芝 千秋	樹間	1907
8	芝 千秋	川岸風景	1904
9	中林 儼	冬の風景	1935 頃
10	中林 儼	けしの花	不詳
11	加藤源之助	秋の山(大和初瀬村)	1908
12	石井柏亭	病児	1904
13	石井柏亭	裏磐梯の秋	1952
14	長谷川良雄	下鴨	1915 頃
15	長谷川良雄	高等工芸学校西裏通り	1907
16	間部時雄	寒林	不詳
17	国枝金三	大阪風景	1909
18	黒田重太郎	街風景	1907
19	田中善之助	日傘	1907 頃
20	五百城文哉	日光	不詳
21	田中善之助	聖護院の裏	1907 頃
22	河合新蔵	竹林図	1934 頃
23	石川欽一郎	赤城淡煙	不詳
24	石川欽一郎	水辺	1916～21
25	白滝幾之助	伊国アシシ	1923

26	丸山晚霞	初夏	1912 頃
27	大下藤次郎	久々子湖	1911
28	大下藤次郎	青梅	1904
29	真野紀太郎	バラ	1940
30	三宅克己	小諸城址	1900
31	小山周次	ばら	1938
32	相田直彦	清浪	不詳
33	赤城泰舒	赤屋根の村	1913
34	千亀広太郎	上野公園池畔	1924
35	水野以文	草花	1914
36	後藤工志	ダリア	1913
37	古賀春江	風景	1923 頃

浅井忠の周辺作家

会 期 平成22年11月27日(土)～平成23年1月10日(日)  
点 数 25点  
開催日数 31日間

NO	作家名	作品名	制作
1	浅井 忠	女の顔(模写)	1876
2	浅井 忠	石膏臨画	不詳
3	浅井 忠	少女	1877
4	浅井 忠	鍛冶橋	1878
5	浅井 忠	風景	1878
6	浅井 忠	本所風景	1878
7	フォンタネージ	神女之図	1876～78
8	フォンタネージ	池と樹木	1870～72
9	フォンタネージ	水汲み場風景	1863 頃
10	フォンタネージ	風景1	不詳
11	フォンタネージ	風景2	不詳
12	コラン	田園詩	1903
13	松岡 寿	森と小川	1895
14	浅井 忠	曳舟通り	1885
15	浅井 忠	本と花	1889
16	浅井 忠	小丹波村	1893
17	浅井 忠	漁婦	1897
18	浅井 忠	金州城壁上	1894
19	浅井 忠	金州城南門外	1894
20	都鳥英喜	婦人像	1919 頃
21	都鳥英喜	村の道	1942
22	石井柏亭	聖フランチェスコ寺院	1923
23	石井柏亭	印度洋上	1911
24	石井柏亭	真間の入江(下図)	1904
25	石井柏亭	或尼僧	1942

## 浜口陽三のメゾチント part1

会 期 平成23年3月5日(土)～4月10日(日)  
点 数 26点  
開催日数 32日間

NO	作家名	作品名	制作年
1	浜口陽三	西瓜	1955
2	浜口陽三	パリの屋根	1956
3	浜口陽三	魚とさくらんぼ	1956
4	浜口陽三	したびらめ	1956
5	浜口陽三	ざくろ	1958
6	浜口陽三	白菜	1960
7	浜口陽三	ポプラ	1961
8	浜口陽三	赤い鉢と黒いさくらんぼ	1966
9	浜口陽三	2匹のてんとう虫	1975
10	浜口陽三	1/4のレモン	1976
11	浜口陽三	二匹の蝶	1977
12	浜口陽三	西瓜	1981
13	浜口陽三	マントリック・ミュージック(22のさくらんぼ15枚組)	1988
14	浜口陽三	3つのポプラ	1980
15	浜口陽三	緑のポプラ	1985～89
16	浜口陽三	くるみ	1982
17	浜口陽三	青いくるみ	1982～89
18	浜口陽三	琥珀色のくるみ	1982～89
19	浜口陽三	青紫色の蝶	1982～89
20	浜口陽三	野	1985
21	浜口陽三	レダ	1951
22	浜口陽三	草花	1952
23	浜口陽三	顔	1954
24	浜口陽三	ブラジルの太陽	1971
25	浜口陽三	びんとさくらんぼ	1971
26	浜口陽三	テーブル掛けとさくらんぼ	1971

## 第8展示室

### 描かれた女性たち

会 期 平成22年6月5日(土)～7月19日(月・祝)  
点 数 20点  
開催日数 27日間

NO	作家名	作品名	制作年
1	クールベ	眠る人	1853
2	霜鳥之彦	緑のスウェーター	1923
3	梅原龍三郎	純子像	1968
4	澤部清五郎	婦人像	1913
5	鶴田吾郎	婦人像	1935
6	鹿子木孟郎	裸女と野花	不詳
7	黒田重太郎	浴後	1927
8	板倉 鼎	裸婦	1929
9	松澤茂雄	海辺の裸婦	1981
10	武内和夫	緑陰三女	1974
11	安藤信哉	室内	1968
12	松村三冬	佳人	1971
13	宮城泰介	嘆き	1955
14	渡辺 学	下総の海女	1982
15	荒谷直之介	大原女	1969

16	高畑郁子	メスティーソの女達	1977
17	三谷十糸子	魚紋	1988
18	村松乙彦	化粧	1947
19	若木 山	鏡	1957
20	横尾芳月	鏡獅子	1981

## 工芸の技と美

会 期 平成22年7月24日(土)～10月11日(日・祝)  
点 数 43点  
開催日数 69日間

NO	作家名	作品名	制作年
1	河村蜻山	長方皿雨・風・晴	不詳
2	加藤土師萌	酒瓶	1942
3	土肥刀泉	釉彩両耳花瓶	1967
4	宮之原謙	双魚花瓶	1958
5	山本正年	黎明	1953
6	山本正年	瑞光	不詳
7	横山朝陽	草花紋掻落皿	不詳
8	横山光ノ介	戦碑	1976
9	神谷紀雄	鉄絵銅彩葡萄紋大鉢	1987
10	武田武弘	ランボーの詩より(朝)	1975
11	増村益城	乾漆波文溜塗盛器	1965
12	三村比呂志	想曲	1971
13	深山美峰	飛鶴	1975
14	深山美峰	四君子	1955
15	会田富康	青銅双鳥置物	不詳
16	香取秀真	烏銅鳳凰香炉	1911
17	香取秀真	銅製猪型水指し	不詳
18	津田永寿	雪の朝	1989
19	津田信夫	蛙	1934
20	津田信夫	鹿	不詳
21	津田信夫	鷺	1939
22	宮田宏平	生命の透間風	1982
23	山室百世	鍍銀小鳥のささやき	1943
24	鈴木治平	湿原の詩	1985
25	関谷四郎	銅鉄壺	1974
26	中村董一	あこがれ	1960
27	鹿島一谷	布目象嵌菱つなぎ文南鐙水指	1981
28	小林正利	宴野	1996
29	帖佐美行	香実と想鳥	1984
30	寺本美茂	からまつ林の詩	1978
31	信田 洋	透壺	1968
32	信田 洋	九曜盤	1970
33	石井康治	環象文器	1993
34	藤田喬平	飾篭・朱雀	1985
35	中基瑞真	桐菱形塗輪花盛器	不詳
36	秋山逸生	蝶貝象嵌箱	1966
37	秋山逸生	カンナ芝山象嵌襷飾	1973
38	戸島甲喜	天と地の間に	1977
39	高浜かの子	メロディー	1985
40	高浜かの子	おねだり	1986頃
41	猪俣伊治郎	行き交うかたち	1986
42	上野斌郎	楽園染色壁掛	不詳
43	松原利男	藍型染色物浜辺文	1993



## 書の美

会 期 平成22年11月27日(土)～1月16日(日)  
点 数 16点  
開催日数 37日間

NO	作家名	作品名	制作年
1	浅見喜舟	崔子玉座右銘	1967
2	浅見喜舟	面壁九年	1982
3	浅見喜舟	蘭亭序(行書)	1983
4	浅見錦龍	蘭亭序	1981
5	金子聰松	視思明	1973
6	高澤南総	一道飛泉萬松裡	1976
7	岩波白鳳	陶淵明詩三首	1997
8	中台青陵	杜甫詩 飲中八仙歌	1972
9	関根薫園	雲從龍	不詳
10	石井雙石	水廣魚游	不詳
11	石井雙石	無可無不可	1953
12	小暮青風	万葉集東歌(上野国の歌六首)	1975
13	福田丞州	啄木のうた	1998
14	種谷扇舟	感謝の一生	1998
15	千代倉桜舟	玉沙の書	1987
16	小川瓦木	古代人からのメッセージ8	1997

## 水辺の風景

会 期 平成23年3月5日(土)～4月24日(日)  
点 数 26点  
開催日数 38日間

NO	作家名	作品名	制作年
1	櫻田精一	白い舟	1985
2	櫻田精一	水温む河岸	1992
3	山倉克己	田園弥生	1982
4	大崎善生	初秋水郷	1989
5	大崎善生	十二橋	1965
6	柴田祐作	水郷静日	1981
7	佐々木一郎	漁村(1982)	1982
8	高橋規矩治郎	漁船	1965
9	浦田正夫	外房早春	1935
10	山本不二夫	美しき佐原河港	1940
11	小堀 進	太平洋の漁村	1941
12	小堀 進	海(白浜)	1954
13	斎藤 惇	大漁の日	2002
14	石橋武治	白鷺のいる風景	1953
15	石橋武治	水辺の家	1963
16	椿 貞雄	岩	1936
17	都鳥英喜	海浜風景	1909
18	斎藤捷夫	海辺の光景	1983
19	田坂ゆたか	森ヶ崎附近	1963
20	富田通雄	静かなる日	1937
21	西嶋俊親	運河清閑	1991
22	松村三冬	ピランの夏	1988
23	小堀 進	レマン湖畔	1962
24	鶴田吾郎	水温む	1968
25	若木 山	早春	1958
26	時田直善	憩い／鵠その6	1987

## 第7展示室

### 彫刻

会 期 平成22年12月14日(火)～23年4月10日(日)  
点 数 17点  
開催日数 89日間

NO	作家名	作品名	制作年
1	梅原正夫	なかよし	1985
2	高村光太郎	十和田裸婦像のための中型試作	1953
3	浦野八重子	生きるということ	1987
4	金田雄作	Bed Room N氏邸見取り図より	1984
5	西村房蔵	翠蔭	1984
6	舟越保武	婦人像	1985
7	久保田淑通	さりげなく	1985
8	大国丈夫	ヨガ	1984
9	笠原鉄明	帰る日	1993
10	堀 豊之	姉妹	1984
11	鈴木 徹	さくら貝	1978
12	山本正道	ヴァージニア	1979
13	堀川 恭	聖なる佇立	1981
14	陰里寿朗	構造上の森	1988
15	南部治夫	時の流れに	1989
16	原 武典	水の中の太陽('82)	1982
17	郡司和男	詩人の肖像	1976



# 平成 22 年度企画展

## 日本赤十字社所蔵美術展

会 期 平成 22 年 5 月 1 日 (土) ~ 平成 22 年 5 月 30 日 (日)  
 開催日数 26 日間  
 会 場 第 3・8 展示室  
 展示点数 58 点  
 入場者数 7,531 名

NO	作家名	作品名	制作年				
1	石踊達哉	秋涼	不詳	46	楠部彌弼	彩甍花宴	不詳
2	浦田正夫	かずら	不詳	47	近藤悠三	柘榴染付壺	不詳
3	常盤大空	長安の女	1977	48	坂高麗左衛門	萩焼茶碗	不詳
4	東山魁夷	晴れゆく朝霧	1979	49	酒井田村右衛門	染錦花鳥文花瓶	不詳
5	三輪晃勢	葉かげ	1963	50	中里無庵	唐津茶碗	不詳
6	結城天童	爛漫 (月山)	不詳	51	濱田庄司	鉄絵花瓶	不詳
7	パブロ・ピカソ	アトリエの画家	1963	52	藤原 雄	備前徳利形扁壺	1975
8	相原求一朗	潮騒の丘	1992	53	森野嘉光	緑釉窯変花瓶	不詳
9	青木純子	窓辺の憩い	不詳	54	山本陶秀	備前大海茶入	不詳
10	朝比奈文雄	早春	不詳	55	吉賀大眉	曉雲筒型花瓶	不詳
11	足立真一郎	白馬風景	不詳	56	帖佐美行	白い鳳凰	不詳
12	岩本英希	平和の泉	1977	57	丸谷端堂	鍔銅花器	1969
13	梅原龍三郎	パリス審判図	1939	58	各務鐵三	クリスタル花瓶	不詳
14	荻須高德	僧院の回廊	1973				
15	織田廣喜	シャンゼリの風景	1996				
16	鬼頭鍋三郎	信濃の春 (森林杏花)	1960 頃				
17	小磯良平	集い	1977				
18	神下雄吉	公園の秋 (パリ)	1984				
19	サイタ亨	時雨るる湖畔	1974				
20	島田章三	埴輪と女	1977				
21	杉本健吉	牡丹	1977				
22	鈴木信太郎	椅子にのる人形	1950				
23	鈴木千久馬	花菖蒲	不詳				
24	武田範芳	サントリーニ島 (ギリシャ・エーゲ海)	不詳				
25	寺田春式	春を呼ぶ荒野	1973				
26	東郷青児	ソルフェリーノの啓示	1977				
27	東郷青児	ナース像	1974				
28	藤田嗣治	佛印メコンの廣野	1940				
29	藤本東一良	セーヌへの道	1983				
30	増田 誠	オンフルール	不詳				
31	増田 誠	ソルフェリーノのアンリー・デュナン	1979				
32	村田省蔵	冬木立	1994				
33	ヒロ・ヤマガタ	獣医さん	1996				
34	永瀬義郎	からくり (版画集「浪漫」所収)	不詳				
35	永瀬義郎	水の妖精 (版画集「浪漫」所収)	不詳				
36	永瀬義郎	浪漫 (版画集「浪漫」所収)	不詳				
37	南城一夫	暁のピエロ (「南城一夫石版画集」所収)	不詳				
38	南城一夫	盛花 (「南城一夫石版画集」所収)	不詳				
39	南城一夫	釣り人 (「南城一夫石版画集」所収)	不詳				
40	南城一夫	テニスコート (「南城一夫石版画集」所収)	不詳				
41	南城一夫	雪女郎 (「南城一夫石版画集」所収)	不詳				
42	浅見隆三	雲壺	不詳				
43	今泉今右衛門	色鍋島更紗文額皿	不詳				
44	大樋年朗	天目釉鳥紋飾壺	不詳				
45	清水六兵衛	銀白歯朶花瓶	不詳				

あなたに届けたい「人」への想い



平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1日(土)~30日(日)

平塚 22 号  
5月1

あなたに届きたい「人声」への思い



日本赤十字社所蔵美術展

平成 22 年  
5 月 1 日 (土) ~ 30 日 (日)

会場 第 3・8 展示室

日本赤十字社 千葉県支部

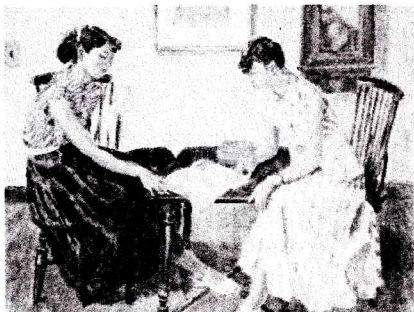
公財 千葉県立美術館



## 不破章展 旅・ひと・自然—水彩画の即興詩を歌う

会 期 平成23年1月22日(土)～2月27日(日)  
 開催日数 32日間  
 会 場 第1・2・3・8展示室  
 展示点数 73点  
 入場者数 5,092名

NO	作家名	作品名	制作年				
1	不破章	室内	1941	47	不破章	榕樹の家(安平城址)	1970
2	不破章	描く〇君	1942	48	不破章	台湾農村風景	1970
3	不破章	裁縫女	1943	49	不破章	小淵沢	1970
4	不破章	室内午後	1952	50	不破章	山麓の街(埔里鎮)	1970
5	不破章	黄衣	1953	51	不破章	外房の女	1972
6	不破章	二女	1953	52	不破章	寒風	1972
7	不破章	炊事場の朝(積翠寺)	1955	53	不破章	神城	1972
8	不破章	湘南の海	1956	54	不破章	帰港(白浜 乙浜港)	1973
9	不破章	三人姉妹	1956	55	不破章	白馬野平	1973
10	不破章	裸婦	1957	56	不破章	牛を描く(新狭山入間川)	1973
11	不破章	子供とテレビ	1958	57	不破章	屏東公園の正月(台湾の市場にて)	1973
12	不破章	浴衣	1960	58	不破章	白樺林からみえる白馬三山	1973
13	不破章	室内	1960	59	不破章	外房の花畑	1974
14	不破章	鳴子の春(湯沢温泉)	1961	60	不破章	白いブラウス	1974
15	不破章	鶏舎	1962	61	不破章	ルッセルスハイム	1974
16	不破章	農婦	1962	62	不破章	御苑の初夏	1974
17	不破章	浜波太の女(房州太海)	1962	63	不破章	志賀	1974
18	不破章	無題	1962	64	不破章	御苑	1974
19	不破章	水郷	1962	65	不破章	台湾の民家	1974
20	不破章	パルテノン	1963	66	不破章	雲	1975
21	不破章	セーヌ新緑	1963	67	不破章	草上	1975
22	不破章	ハンブルグ	1963	68	不破章	旗山鎮の街角	1975
23	不破章	北信晴雪(四谷)	1963	69	不破章	外苑	1975
24	不破章	越後塩沢	1964	70	不破章	奥鬼怒の湯治場	1976
25	不破章	信濃白馬村(大出)	1964	71	不破章	塩沢魚の川	1978
26	不破章	卓	1964	72	不破章	台湾の農家	1978
27	不破章	八月	1964	73	不破章	新宿内苑	不詳
28	不破章	湖畔の街	1964				
29	不破章	ナント	1965				
30	不破章	ノルマンジーのホテル	1965				
31	不破章	ポントルソンの宿	1965				
32	不破章	リュクサンブール新緑	1965				
33	不破章	神城(北信五竜岳)	1965				
34	不破章	松本平初夏	1966				
35	不破章	バンコクの水辺市	1966				
36	不破章	岩船	1967				
37	不破章	大原	1967				
38	不破章	漁港	1967				
39	不破章	上州の農家(群馬富岡市外)	1967				
40	不破章	秩父路麦秋	1967				
41	不破章	白い砂	1967				
42	不破章	木曾路の宿場(三留野)	1968				
43	不破章	港の女	1968				
44	不破章	宜蘭の蔬菜市	1969				
45	不破章	信濃初夏(上田大久保)	1969				
46	不破章	支那服の女	1969				



**不破章展**

絵・文・写真—— 不破章の画と文を収める

— 9:00~10:30 —

— 11:00~12:00 —

— 13:00~14:00 —

— 15:00~16:00 —

— 17:00~18:00 —

— 19:00~20:00 —

— 21:00~22:00 —

— 23:00~24:00 —

— 25:00~26:00 —

— 27:00~28:00 —

— 29:00~30:00 —

— 31:00~32:00 —

— 33:00~34:00 —

— 35:00~36:00 —

— 37:00~38:00 —

— 39:00~40:00 —

— 41:00~42:00 —

— 43:00~44:00 —

— 45:00~46:00 —

— 47:00~48:00 —

— 49:00~50:00 —

— 51:00~52:00 —

— 53:00~54:00 —

— 55:00~56:00 —

— 57:00~58:00 —

— 59:00~60:00 —

— 61:00~62:00 —

— 63:00~64:00 —

— 65:00~66:00 —

— 67:00~68:00 —

— 69:00~70:00 —

— 71:00~72:00 —

— 73:00~74:00 —

— 75:00~76:00 —

— 77:00~78:00 —

— 79:00~80:00 —

— 81:00~82:00 —

— 83:00~84:00 —

— 85:00~86:00 —

— 87:00~88:00 —

— 89:00~90:00 —

— 91:00~92:00 —

— 93:00~94:00 —

— 95:00~96:00 —

— 97:00~98:00 —

— 99:00~100:00 —

— 101:00~102:00 —

— 103:00~104:00 —

— 105:00~106:00 —

— 107:00~108:00 —

— 109:00~110:00 —

— 111:00~112:00 —

— 113:00~114:00 —

— 115:00~116:00 —

— 117:00~118:00 —

— 119:00~120:00 —

— 121:00~122:00 —

— 123:00~124:00 —

— 125:00~126:00 —

— 127:00~128:00 —

— 129:00~130:00 —

— 131:00~132:00 —

— 133:00~134:00 —

— 135:00~136:00 —

— 137:00~138:00 —

— 139:00~140:00 —

— 141:00~142:00 —

— 143:00~144:00 —

— 145:00~146:00 —

— 147:00~148:00 —

— 149:00~150:00 —

— 151:00~152:00 —

— 153:00~154:00 —

— 155:00~156:00 —

— 157:00~158:00 —

— 159:00~160:00 —

— 161:00~162:00 —

— 163:00~164:00 —

— 165:00~166:00 —

— 167:00~168:00 —

— 169:00~170:00 —

— 171:00~172:00 —

— 173:00~174:00 —

— 175:00~176:00 —

— 177:00~178:00 —

— 179:00~180:00 —

— 181:00~182:00 —

— 183:00~184:00 —

— 185:00~186:00 —

— 187:00~188:00 —

— 189:00~190:00 —

— 191:00~192:00 —

— 193:00~194:00 —

— 195:00~196:00 —

— 197:00~198:00 —

— 199:00~200:00 —

— 201:00~202:00 —

— 203:00~204:00 —

— 205:00~206:00 —

— 207:00~208:00 —

— 209:00~210:00 —

— 211:00~212:00 —

— 213:00~214:00 —

— 215:00~216:00 —

— 217:00~218:00 —

— 219:00~220:00 —

— 221:00~222:00 —

— 223:00~224:00 —

— 225:00~226:00 —

— 227:00~228:00 —

— 229:00~230:00 —

— 231:00~232:00 —

— 233:00~234:00 —

— 235:00~236:00 —

— 237:00~238:00 —

— 239:00~240:00 —

— 241:00~242:00 —

— 243:00~244:00 —

— 245:00~246:00 —

— 247:00~248:00 —

— 249:00~250:00 —

— 251:00~252:00 —

— 253:00~254:00 —

— 255:00~256:00 —

— 257:00~258:00 —

— 259:00~260:00 —

— 261:00~262:00 —

— 263:00~264:00 —

— 265:00~266:00 —

— 267:00~268:00 —

— 269:00~270:00 —

— 271:00~272:00 —

— 273:00~274:00 —

— 275:00~276:00 —

— 277:00~278:00 —

— 279:00~280:00 —

— 281:00~282:00 —

— 283:00~284:00 —

— 285:00~286:00 —

— 287:00~288:00 —

— 289:00~290:00 —

— 291:00~292:00 —

— 293:00~294:00 —

— 295:00~296:00 —

— 297:00~298:00 —

— 299:00~300:00 —

— 301:00~302:00 —

— 303:00~304:00 —

— 305:00~306:00 —

— 307:00~308:00 —

— 309:00~310:00 —

— 311:00~312:00 —

— 313:00~314:00 —

— 315:00~316:00 —

— 317:00~318:00 —

— 319:00~320:00 —

— 321:00~322:00 —

— 323:00~324:00 —

— 325:00~326:00 —

— 327:00~328:00 —

— 329:00~330:00 —

— 331:00~332:00 —

— 333:00~334:00 —

— 335:00~336:00 —

— 337:00~338:00 —

— 339:00~340:00 —

— 341:00~342:00 —

— 343:00~344:00 —

— 345:00~346:00 —

— 347:00~348:00 —

— 349:00~350:00 —

— 351:00~352:00 —

— 353:00~354:00 —

— 355:00~356:00 —

— 357:00~358:00 —

— 359:00~360:00 —

— 361:00~362:00 —

— 363:00~364:00 —

— 365:00~366:00 —

— 367:00~368:00 —

— 369:00~370:00 —

— 371:00~372:00 —

— 373:00~374:00 —

— 375:00~376:00 —

— 377:00~378:00 —

— 379:00~380:00 —

— 381:00~382:00 —

— 383:00~384:00 —

— 385:00~386:00 —

— 387:00~388:00 —

— 389:00~390:00 —

— 391:00~392:00 —

— 393:00~394:00 —

— 395:00~396:00 —

— 397:00~398:00 —

— 399:00~400:00 —

— 401:00~402:00 —

— 403:00~404:00 —

— 405:00~406:00 —

— 407:00~408:00 —

— 409:00~410:00 —

— 411:00~412:00 —

— 413:00~414:00 —

— 415:00~416:00 —

— 417:00~418:00 —

— 419:00~420:00 —

— 421:00~422:00 —

— 423:00~424:00 —

— 425:00~426:00 —

— 427:00~428:00 —

— 429:00~430:00 —

— 431:00~432:00 —

— 433:00~434:00 —

— 435:00~436:00 —

— 437:00~438:00 —

— 439:00~440:00 —

— 441:00~442:00 —

— 443:00~444:00 —

— 445:00~446:00 —

— 447:00~448:00 —

— 449:00~450:00 —

— 451:00~452:00 —

— 453:00~454:00 —

— 455:00~456:00 —

— 457:00~458:00 —

— 459:00~460:00 —

— 461:00~462:00 —

— 463:00~464:00 —

— 465:00~466:00 —

— 467:00~468:00 —

— 469:00~470:00 —

— 471:00~472:00 —

— 473:00~474:00 —

— 475:00~476:00 —

— 477:00~478:00 —

— 479:00~480:00 —

— 481:00~482:00 —

— 483:00~484:00 —

— 485:00~486:00 —

— 487:00~488:00 —

— 489:00~490:00 —

— 491:00~492:00 —

— 493:00~494:00 —

— 495:00~496:00 —

— 497:00~498:00 —

— 499:00~500:00 —

— 501:00~502:00 —

— 503:00~504:00 —

— 505:00~506:00 —

— 507:00~508:00 —

— 509:00~510:00 —

— 511:00~512:00 —

— 513:00~514:00 —

— 515:00~516:00 —

— 517:00~518:00 —

— 519:00~520:00 —

— 521:00~522:00 —

— 523:00~524:00 —

— 525:00~526:00 —

— 527:00~528:00 —

— 529:00~530:00 —

— 531:00~532:00 —

— 533:00~534:00 —

— 535:00~536:00 —

— 537:00~538:00 —

— 539:00~540:00 —

— 541:00~542:00 —

— 543:00~544:00 —

— 545:00~546:00 —

— 547:00~548:00 —

— 549:00~550:00 —

— 551:00~552:00 —

— 553:00~554:00 —

— 555:00~556:00 —

— 557:00~558:00 —

— 559:00~560:00 —

— 561:00~562:00 —

— 563:00~564:00 —

— 565:00~566:00 —

— 567:00~568:00 —

— 569:00~570:00 —

— 571:00~572:00 —

— 573:00~574:00 —

— 575:00~576:00 —

— 577:00~578:00 —

— 579:00~580:00 —

— 581:00~582:00 —

— 583:00~584:00 —

— 585:00~586:00 —

— 587:00~588:00 —

— 589:00~590:00 —

— 591:00~592:00 —

— 593:00~594:00 —

— 595:00~596:00 —

— 597:00~598:00 —

— 599:00~600:00 —

— 601:00~602:00 —

— 603:00~604:00 —

— 605:00~606:00 —

— 607:00~608:00 —

— 609:00~610:00 —

— 611:00~612:00 —

— 613:00~614:00 —

— 615:00~616:00 —

— 617:00~618:00 —

— 619:00~620:00 —

— 621:00~622:00 —

— 623:00~624:00 —

— 625:00~626:00 —

— 627:00~628:00 —

— 629:00~630:00 —

— 631:00~632:00 —

— 633:00~634:00 —

— 635:00~636:00 —

— 637:00~638:00 —

— 639:00~640:00 —

— 641:00~642:00 —

— 643:00~644:00 —

— 645:00~646:00 —

— 647:00~648:00 —

— 649:00~650:00 —

— 651:00~652:00 —

— 653:00~654:00 —

— 655:00~656:00 —

— 657:00~658:00 —

— 659:00~660:00 —

— 661:00~662:00 —

— 663:00~664:00 —

— 665:00~666:00 —

— 667:00~668:00 —

— 669:00~670:00 —

— 671:00~672:00 —

— 673:00~674:00 —

— 675:00~676:00 —

— 677:00~678:00 —

— 679:00~680:00 —

— 681:00~682:00 —

— 683:00~684:00 —

— 685:00~686:00 —

— 687:00~688:00 —

— 689:00~690:00 —

— 691:00~692:00 —

— 693:00~694:00 —

— 695:00~696:00 —

— 697:00~698:00 —

— 699:00~700:00 —

— 701:00~702:00 —

— 703:00~704:00 —

— 705:00~706:00 —

— 707:00~708:00 —

— 709:00~710:00 —

— 711:00~712:00 —

— 713:00~714:00 —

— 715:00~716:00 —

— 717:00~718:00 —

— 719:00~720:00 —

— 721:00~722:00 —

— 723:00~724:00 —

— 725:00~726:00 —

— 727:00~728:00 —

— 729:00~730:00 —

— 731:00~732:00 —

— 733:00~734:00 —

— 735:00~736:00 —

— 737:00~738:00 —

— 739:00~740:00 —

— 741:00~742:00 —

— 743:00~744:00 —

— 745:00~746:00 —

— 747:00~748:00 —

— 749:00~750:00 —

— 751:00~752:00 —

— 753:00~754:00 —

— 755:00~756:00 —

— 757:00~758:00 —

— 759:00~760:00 —

— 761:00~762:00 —

— 763:00~764:00 —

— 765:00~766:00 —

— 767:00~768:00 —

— 769:00~770:00 —

— 771:00~772:00 —

— 773:00~774:00 —

— 775:00~776:00 —

— 777:00~778:00 —

— 779:00~780:00 —

— 781:00~782:00 —

— 783:00~784:00 —

— 785:00~786:00 —

— 787:00~788:00 —

— 789:00~790:00 —

— 791:00~792:00 —

— 793:00~794:00 —

— 795:00~796:00 —

— 797:00~798:00 —

— 799:00~800:00 —

— 801:00~802:00 —

— 803:00~804:00 —

— 805:00~806:00 —

— 807:00~808:00 —

— 809:00~810:00 —

— 811:00~812:00 —

— 813:00~814:00 —

— 815:00~816:00 —

— 817:00~818:00 —

— 819:00~820:00 —

— 821:00~822:00 —

— 823:00~824:00 —

— 825:00~826:00 —

— 827:00~828:00 —

— 829:00~830:00 —

— 831:00~832:00 —

— 833:00~834:00 —

— 835:00~836:00 —

— 837:00~838:00 —

— 839:00~840:00 —

— 841:00~842:00 —

— 843:00~844:00 —

— 845:00~846:00 —

— 847:00~848:00 —

— 849:00~850:00 —

— 851:00~852:00 —

— 853:00~854:00 —

— 855:00~856:00 —

— 857:00~858:00 —

— 859:00~860:00 —

— 861:00~862:00 —

— 863:00~864:00 —

— 865:00~866:00 —

— 867:00~868:00 —

— 869:00~870:00 —

— 871:00~872:00 —

— 873:00~874:00 —

— 875:00~876:00 —

— 877:00~878:00 —

— 879:00~880:00 —

— 881:00~882:00 —

— 883:00~884:00 —

— 885:00~886:00 —

— 887:00~888:00 —

— 889:00~890:00 —

— 891:00~892:00 —

— 893:00~894:00 —

— 895:00~896:00 —

— 897:00~898:00 —

— 899:00~900:00 —

— 901:00~902:00 —

— 903:00~904:00 —

— 905:00~906:00 —

— 907:00~908:00 —

— 909:00~910:00 —

<



## 第34回千葉県移動美術館

酒々井町中央公民館を会場として、日本画、洋画、彫刻、工芸、書、版画の各6分野にわたる千葉県立美術館の所蔵作品を紹介するとともに、第62回千葉県美術展覧会の受賞作品も併せて展示した。

会 期 平成22年12月1日(水)～12日(日)  
(6日(月)は休館)

開催日数 11日間

会 場 酒々井町中央公民館

展示点数 40点

入場者数 947人

## &lt;洋画&gt;

NO	作家名	作品名	制作年
1	浅井 忠	藁屋根	1887頃
2	フォンタネージ	森の空地の農婦	不詳
3	ラヴィエ	モレステル風景	1867～95
4	都鳥英喜	洛北の早春	1934
5	安井曾太郎	熱海附近	1929
6	芝 千秋	奈良	1911
7	田中志奈子	デッサン(箒をもつ女)	1905
8	板倉 鼎	金魚	1928
9	大野隆徳	李朝の鉢と金魚	1934
10	小堀 進	逆光	1974
11	大崎善生	十二橋	1965
12	山本不二夫	美しき佐原河港	1940
13	荒谷直之介	那覇の踊り子	1967
14	篠崎輝夫	敦煌莫高窟	1996

## &lt;日本画&gt;

NO	作家名	作品名	制作年
15	川端龍子	松	不詳
16	富取風堂	罌粟	不詳
17	黒沢吉蔵	遙か安達太良	2005
18	五十嵐幹	かくれんぼ	1983
19	立石春美	狗	1967

## &lt;版画&gt;

NO	作家名	作品名	制作年
20	深沢幸雄	めし	1956
21	牛玖健治	天使 E	1985
22	川瀬巴水	市川の晩秋	1930
23	浜口陽三	さくらんぼと青い鉢	1976

## &lt;書&gt;

NO	作家名	作品名	制作年
24	小川瓦木	侃のイメージ	1932
25	浅見喜舟	木戸公之詩	1916頃
26	千代倉桜舟	大王のひすめの音も…	1997

## &lt;彫刻&gt;

NO	作家名	作品名	制作年
27	鈴木章	七面鳥	1932
28	高村光太郎	裸婦坐像	1916頃
29	長谷川昂	砂あそび	1997

## &lt;工芸&gt;

NO	作家名	作品名	制作年
30	上野斌郎	海染色二枚折屏風	1951
31	香取秀真	烏銅鳳凰香炉	1911
32	津田信夫	一點玲瓏	1934
33	土肥刀泉	釉彩兩耳花瓶	1967
34	宮之原謙	彩盛百合文壺	1974
35	秋山逸生	木画箱	1969
36	信田 洋	装瓶(六文銭)	1970

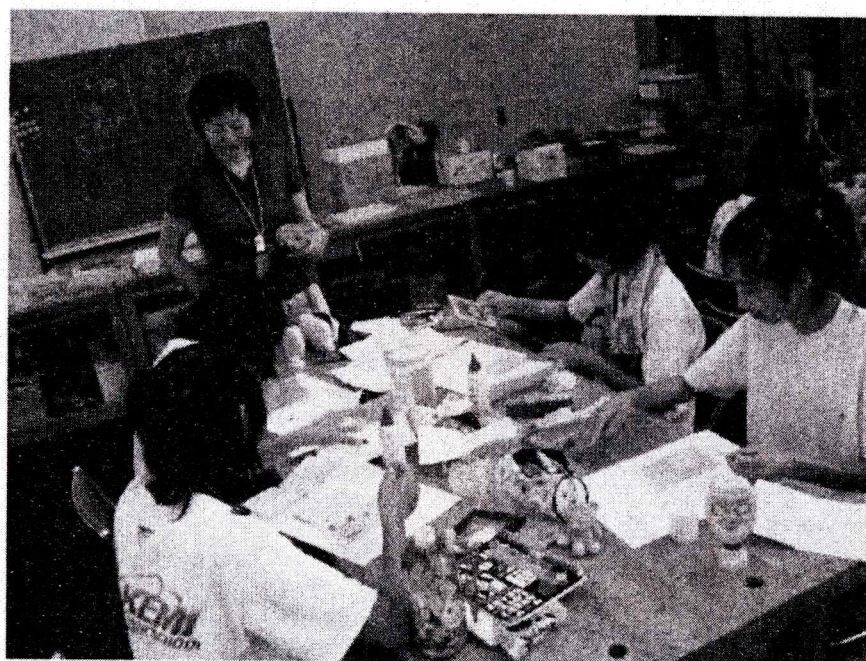
## 第61回千葉県美術展覧会(県展) 県展賞受賞作品

NO	作家名	作品名	制作年
37	入来院紀子	犬日和	2010
38	木原由美子	あの日の記憶	2010
39	水谷俊雄	君と僕	2010
40	菅谷騰空	白楽天詩	2010





◇ 普及事業 ◇





## 1 企画展「日本赤十字社所蔵美術展」関連事業

### □ 美術講演会

「美術品鑑賞のツボ～美術品を100倍楽しむ方法」

日本赤十字社千葉県支部の主催により開催された。米田耕司氏（現長崎県美術館館長）を講師に迎え、正しい作品を選ぶ眼を養う方法、絵の見方の具体的な方法、美術館（美術館）の上手な使い方、美術館・博物館などの健康効果の4つの観点を軸にして美術品鑑賞の方法について深く話を伺った。

期 日 5月15日（土）11:00～12:00

会 場 日本赤十字社千葉県支部6階大会議室

参加者数 125人

## 2 企画展「不破章展」関連事業

### □ 美術講演会「日本の水彩画と不破章」

本館では、当初から水彩画の体系的な収集に努めており、水彩画史上の代表的な作家数十名による収蔵作品は本館のコレクションの大きな柱となっている。本館の学芸員そして館長として、水彩画コレクションの充実に努め、「日本の水彩画20 不破章」の著者でもある米田耕司氏（現長崎県美術館館長）を講師に迎え、日本の水彩画の歴史、不破章の魅力等について伺った。

期 日 平成23年1月29日（土）14:00～15:30

場 所 千葉県立美術館 講堂

参加者数 84人



### □ ギャラリートーク

企画展「不破章展」会期中に毎週日曜日の午後2時から当館学芸員による計6回のギャラリートークを行った。

場所 不破章展会場

開催日時と参加者数

平成22年	1月23日（日）	15人
	1月30日（日）	24人
	2月6日（日）	29人
	2月13日（日）	40人
	2月20日（日）	21人
	2月27日（日）	23人

### □ 「不破章展」関連ワークショップ

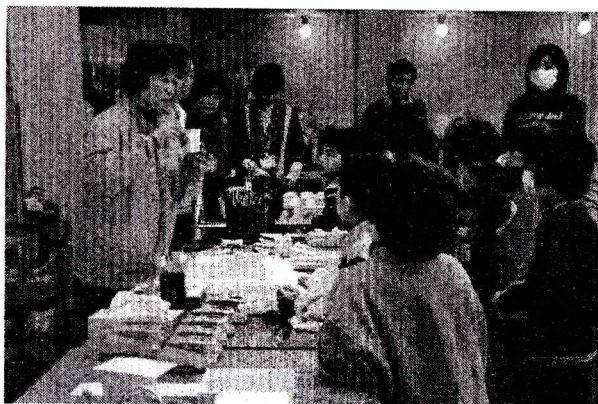
「にじいろパレット」

不破章展を鑑賞後、にじみやぼかしなど水彩画の技法を駆使してはがき大の水彩画用紙を彩った。透明水彩絵の具を数色塗り重ねたり、紙に水分を含ませて絵の具を筆で塗ってにじみを作ったり、思い思いの色で何枚も創作した。できあがった作品の中から、気に入った部分を丸く切り抜いて、カンバッジに仕上げた。さらに全員で一枚の壁面にできた作品を貼って共同制作とした。作品は数週間第7展示室に展示した。

期 日 平成23年2月11日（土）13:00～

場 所 第1展示室、第2アトリエ、第7展示室

参加者数 12人



### □ ミュージアムコンサート

企画展不破章展関連事業として、ニューフィルハーモニーオーケストラ千葉による「歌とピアノ三重奏による名曲の調べ～自然の風景に寄せて～」をテーマに実施した。ソプラノ・ヴァイオリン・チェロ・電子ピアノによる演奏で、第1部は「世界の自然の風景に寄せて」と題し「ウィーンの森の物語」など7曲、第2部は「日本の自然の風景に寄せて」と題し「月の沙漠」など8曲を演奏し、好評であった。

期 日 平成23年2月5日（土）14:00～

場 所 講堂

演 奏 ニューフィルハーモニーオーケストラ千葉のメンバー

内 容 「歌とピアノ三重奏による名曲の調べ」～自然の風景に寄せて～

参加者数 176人





## 2 ワークショップ

美術館でしか味わえない創作体験学習を通して、親しまれる美術館利用の促進を図るため、展覧会に因んだ内容で、以下のワークショップを開催した。

### □第1回ワークショップ「つないで〜ビッグペイントアート」

四つ切りの画用紙に各自2辺を通る線を描き、描いた線をつなぎ合わせて、全員で一つの作品とした。また、80mほどの外壁に貼った紙や芝生に敷いた紙、乗用車の車体に、筆やスポンジ、刷毛などを使って自由に絵を描く創作体験を実施した。

期 日 5/15(土) 13:00～15:30

場 所 美術館野外

参加者数 138名

### □第2回ワークショップ「県民の日・その場であーと遊びとアートの空間」

県民の日に近い土曜日に、幼児から一般を対象にした9種のアート体験ができるワークショップを展開した。カンパジ（色鉛筆等で自由に絵を描いた紙でカンパジ作り）、スタンプカードテーブル（ハガキ大の紙にスタンプや型抜きをした色紙で模様を貼る）、カラフルアートペイコーナー（紙でこまを作る）、カラフルこがもちゃんコーナー（こがも型の立体に色塗り）、たのしい立体コーナー（紙を切り多面体を組み立てる）ともだちいるコーナー（カラーアート紙を使ったコラージュで自由参加による制作）、パズルや積み木で遊べるコーナーなどを設け、アートにふれる一日を提供した。

期 日 6/12(土) 10:00～15:00

場 所 第7展示室

参加 数 64名



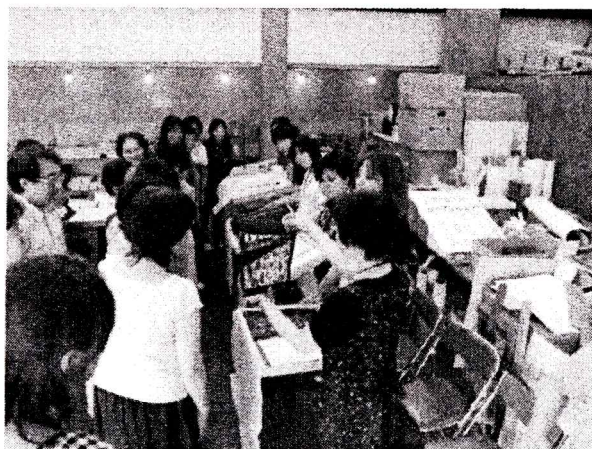
### □第3回ワークショップ「染色工房」

アート・コレクション「青木滋芳」の展示に因み染色作品の展示を鑑賞し、合羽摺りの創作体験を行った。今回は、18歳以上を対象にし、自分のオリジナルデザインの型紙を彫り、布の上から型紙を置き、顔彩で色を差した。最後に全員でできあがった作品を鑑賞した。

期 日 6/24(木) 10:00～15:00

場 所 第1展示室、第2アトリエ

参加者数 16名



### □第4回ワークショップ「わくわく・ドキドキ なつやすみ・あーと」

アート・コレクション「こどものための展覧会「空の表現」の展示に因み、洋画や日本画など空を描いた作品を鑑賞し、写真撮影した空や実際の空を見る鑑賞会を行った。その後、創作体験として紙で作ったブーメランに各自思い思いの色を付けて室内や庭に飛ばして空と親しむ時間を過ごした。今回は、博物館実習生も協働で参加し、こどもたちの活動を援助した。

期 日 7/31(土) 13:00～15:30

場 所 第3・7展示室、館庭

参加者数 34名

### □第5回ワークショップ「親子でクラフト」

アート・コレクション「工芸のわざと美」の展示に因み、2回にわたりやきものをつくるワークショップを実施した。小学生の親子を対象に1回目は展覧会の作品鑑賞（好きな作品を1点選ぶ）とテラコッタ粘土で成形を行った。間に予め館側で素焼きを行っておいだ。2回目は焼きあがった鉢に植物を植えて仕上げた。自分の作品に題名をつけて鑑賞会をした。

期 日 9/4(土) 13:00～15:30、9/23(木)  
13:00～15:30

場 所 第8展示室、第2アトリエ

参加者数 15組 32名



### □第6回ワークショップ「モノレール・デコレーション」

千葉都市モノレールと協働で実施したワークショップで、小学生の親子を対象に、モノレール会社の車両基地



内で、「モノレールで行ってみたい所」をテーマに、カラーシールを使った貼り絵を作り、できあがった作品を車両内に展示した。作品を掲示した車両は、2週間後にモノレール祭りで休憩場所として供され、恰好の発表の場となった。

期 日 10/2(土) 13:00～15:30

場 所 千葉都市モノレール

参加者数 31名(こどものみ)

#### □第7回ワークショップ「その場で・あーと」

こどもの来館が多い時期に設置した年齢制限のない自由参加のワークショップで、当日参加を希望する方を対象とした。丸い用紙にクレヨンや色鉛筆で自分の好みの絵を描いて、カンバツジに仕上げた。

期 日 12/4(土) 10:00～15:00

場 所 県民アトリエロビー

参加者数 112名

### 3 実技講座

#### □陶芸講座(応用)

期 日 5/18(火)、5/19(水)、5/25(火)、  
5/26(水)、5/27(木)、6/17(木)、  
6/25(金)(7日間)

講 師 上瀧浩一氏

受講者数 24名

内 容 陶芸経験者が自由課題で作品を制作し、磁器皿の絵付け体験を行った。

#### □陶芸講座(基礎)

期 日 6/29(火)、6/30(水)、7/1(木)、  
7/2(金)、7/22(木)、7/29(木)(6日間)

講 師 上瀧浩一氏

受講者数 21名

内 容 陶芸初心者を中心に、平皿、花瓶、茶碗の基本形態の作品を3点制作した。



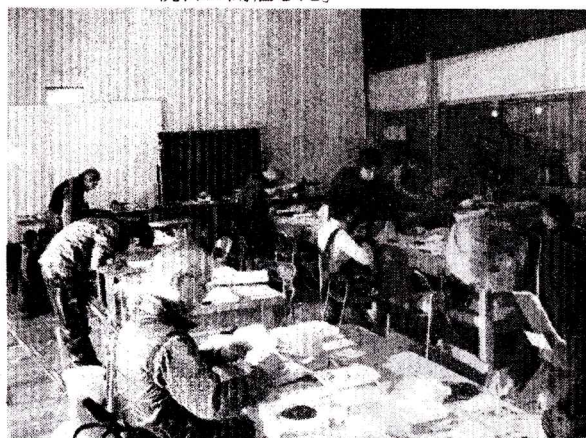
#### □ホリデーアート木版画講座

期 日 11/21(日)、11/23(火・祝)(2日間)

講 師 上田靖之氏

受講者数 14名

内 容 多板多色刷り木版画の作品製作をした。版画の魅力を味わい、自由なテーマ(絵画・イラスト・年賀状)で作品を完成させた。勤労者でも参加できるように、土曜日と祝日に開催した。



#### 銅版画講座

期 日 11/3(水・祝)、11/6(土)11/10(水)、  
11/12(金)、11/16(火)、11/18(木)(6日間)

講 師 上田靖之氏

受講者数 16名

内 容 エッチング技法を中心に銅版画の作品を制作した。版画全般に関して講義を受け、様々な技法を体験した。

#### 金工講座

期 日 1/18(火)、1/20(木)、1/25(火)、  
1/27(木)、2/1(火)、2/3(木)(6日間)

講 師 平山記通氏

受講者数 11名

内 容 銅板から器の形を作るといふ鍛金の基本的な技術の練習をした。材料・道具について特性や扱い方、入手方法にいたるまで学んだ。



#### □篆刻講座

期 日 2/8(火)、2/15(火)、2/18(金)、



2/22(火)、2/25(金)(5日間)

講 師 那須大卿氏  
受講者数 8名  
内 容 講義や印章の制作を通して、篆刻の魅力に触れ、歴史や基本的な技法を学んだ。

#### □実技講座展覧会

平成22年度実技講座で制作した作品による展覧会を第6展示室で実施し、講座参加者の作品発表の場とするともに、広報活動を行った。

期 間 平成23年3月1日(火)～3月6日(日)  
出 品 者 46名  
作 品 数 105点



## 4 学習支援事業など

#### □教師のためのアートガイダンス

学校と美術館の連携を推進するために、美術館活用の方法を提案した。前半は美術館の教育普及活動の紹介、後半は鑑賞教育・創作体験の2つのコースに分かれて研修を実施した。

期 日 7月28日(火)  
第1部 9:00～12:00  
第2部 13:00～16:00  
場 所 講堂、研修室、第2アトリエ、展示室  
対 象 県内小・中・高・特別支援学校の担当教員  
参加者数 ①41名 ②36名 計77名



#### □美術館講座

幕張総合高等学校と連携し、4月から10月までの期間、土曜日や夏季休業中を利用し本講座を実施した。講座は70時間(法定時数35週×2時間)の授業を美術館で行い、2単位を取得するシステムである。参加した11名が単位を取得した。

内容は、美術館の役割や使命、学芸員の仕事を学び、さらに理解を深めるために本館の展示に関わるもので、当館の所蔵作品の中から各自1点を選び、その作家・作品について研究し、展覧会を開催した。発表の場面として選定した作品について入館者の前でギャラリートークを行った。本物の作品を扱い展示することからギャラリートークに至るまで、作品の取り扱い方や情報発信としてチラシの制作を含めて、実際の学芸員と同様の活動を体験した。

また、普及活動としてワークショップに参加し、来館



#### □高校生によるサマーコンサート

夏休み期間中に千葉県立千葉女子高等学校と連携して、オーケストラ部によるサマーコンサートを開催した。2部制で実施し、幼児から高齢者までの参加があった。ラヴェル作曲『ラ・ヴァルス』、久石譲作曲『となりのトトロ』より「さんば」、ビゼー作曲『アルルの女』第二組曲より「ファランドール」などを演奏し、好評であった。

期 日 7月24日(土) 14:00～、15:00～  
会 場 第7展示室





## □ 美術館体験学習

(インターンシップ・一日学芸員体験等)

平成14年度より施行されている新学習指導要領の趣旨に鑑み、本館と学校とが連携を密にし一体となって、児童及び生徒が現在及び将来の生き方を考え行動する態度や能力を育成するための事業として実施した。職場体験、職場訪問、高校生インターンシップ・美術館セミナー等を希望する中学生や高校生を対象とした。

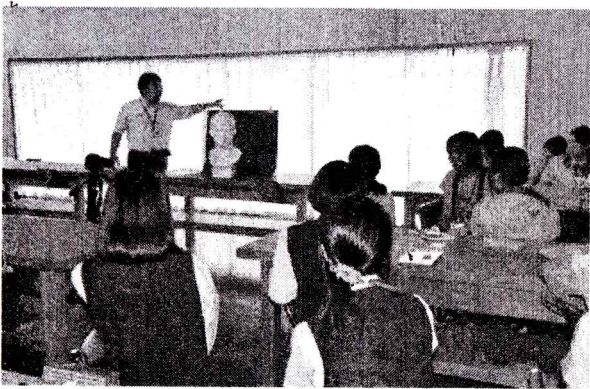
体験内容は、美術館の役割や学芸員の仕事を理解するための講義を受けたり、バックヤードを含めた館内施設の見学、アート・コレクションの作品鑑賞および紹介の実践などを行った。また、美術工芸品(軸物や陶器等)の取り扱い方、保管方法等の実技や、版画やガラスアート等の創作活動、情報資料の整備作業、ワークショップ準備、受付業務、展示監視業務等を行った。高校生は、展示会場作りや写真の原理について学んだ。

### ◆高校生インターンシップ・美術館セミナー

夏休み期間中の8月16日～17日の2日間に実施した。参加校は7校で定員数20名の参加があり、地域も全県下幅広く集まり、学年も1～3年生が揃った。

### ◆職場体験

本年度は、中学校11校、高校2校から計63名の職場体験を受け入れた。1日および2日間の体験学習を行っ



## □ 博学連携事業

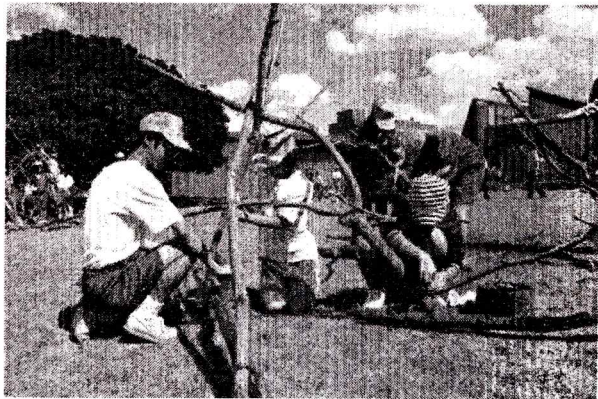
博学連携を推進するため、大学や小・中学校と連携してワークショップの開催や、教育プログラムの開発を行った。

### 100人ワークショップの実施

千葉大学教育学部加藤研究室と連携し、県内中学校美術部を対象としたワークショップを開催した。

期 日 9月18日(土) 10:00～15:00  
場 所 中庭  
内 容 間伐材とシュロ縄を用いて巨大オブジェを制作した。制作した作品は3ヶ月間中庭に展示。

参 加 校 船橋市立飯山満中学校、浦安市立堀江中学校、浦安市立富岡中学校、佐倉市立白井中学校、成田市立成田中学校、成田市立下総中学校、(6校48名)



### 「つなげる鑑賞法」の開発と実践

総合大学院大学の奥本博士と県内小学校2校と連携し、新しい鑑賞法である「つなげる鑑賞法」の研究実践を実施した。

研究協力校

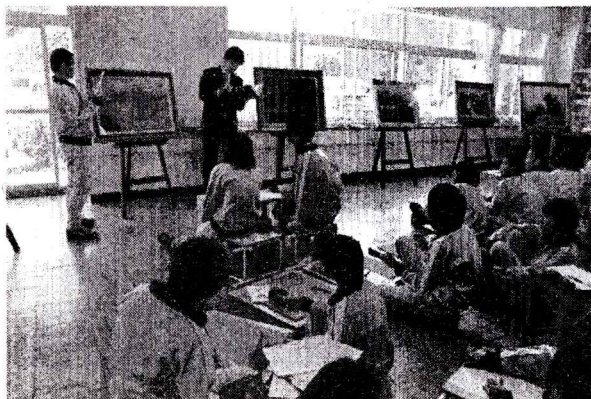
八街市立二州小学校沖分校、千葉市立真砂第三小学校  
内 容

作品同士の「つながり」に着目する「つなげる鑑賞法」を、学校のみでの実施(二州小学校)と来館も含めた実施(真砂第三小学校)を行い、教育的効果についての比較検討を行った。



## □ その他

上記以外にも、ケンピーおもしろ鑑賞教室として、来館した学校団体等を対象に鑑賞学習や創作体験を実施した。また、小学校1校、中学校2校を対象に複製画を活用した出張鑑賞教室を実施した。





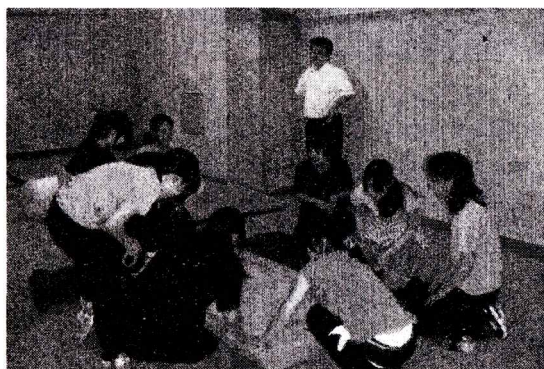
## 5・活動協力など

### □博物館実習

各大学からの依頼により学芸員資格修得希望の学生を受け入れ、ワークショップの運営や作品の取り扱い方の学習、ギャラリートーク等を行った。

期 間 7/29(木)～8/3(火)(6日間)

受入大学 八洲学園大学(1人)、江戸川大学(1人)、駒澤大学(1人)、日本大学(1人)、京都造形芸術大学(1人)、実践女子大学(1人)、昭和女子大学(1人)、立正大学(2人)、(8大学9人)



### □複製画の貸出

鑑賞教育の教材として、学校、社会教育施設などに、当館所蔵の複製画の貸出を行っている。22年度は7件25点の貸出を行った。

平成22年度の貸出先(貸出期間)及び点数

- ①千葉県立中央図書館(22.1.28～22.7.15)1点
- ②千葉県立中央図書館(22.7.16～23.1.21)1点
- ③茂原市立緑ヶ丘小学校(22.6.16)2点
- ④船橋市立大穴中学校(22.6.16～22.7.20)2点
- ⑤市川市立須和田の丘支援学校(22.7.5～22.7.9)2点
- ⑥富里市立富里中学校(22.10.27)13点
- ⑦千葉市立星久喜小学校(23.1.29～23.2.12)4点

### □千葉県立美術館友の会

#### ①目的

“みる・かたる・つくる”という美術館活動に積極的に協力し、楽しい雰囲気の中で教養を豊かにし、美術文化の向上を図り、会員相互の親睦を深める。

#### ②組織

- (1) 会員数 個人会員356人 賛助会員0人
- (2) 役員 会長1人 副会長3人 監事2人 理事 若干名

#### ③事業

- (1) 友の会だより「しおさい」の発行 年4回各

600部印刷し、会員に配布した。

#### (2) 第35回葉美会展の開催

会期 平成21年9月8日(火)～9月13日(日)

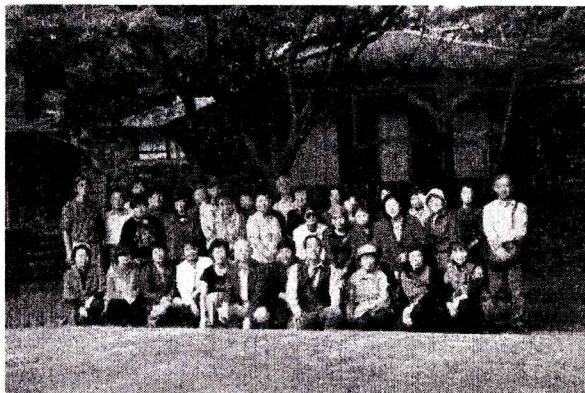
出品者58人 展示点数 98点

#### (3) 秋の美術鑑賞の旅

秋晴れの中、栃木県足利市の美術館や史跡を巡った。

期 日 平成22年10月14日(木)

場 所 栗田美術館・足利市立美術館・足利学校・草雲美術館 参加者数 37人



#### (4) 館事業への協力

ミュージアムグッズの販売、実技講座の開催等、県民アトリエ事業に積極的に参加した。

#### (5) その他

テレフォンカード、絵葉書、額縁、図書等の販売

#### ④平成22年度友の会実技講座

##### 洋画講座1

期 日 5/11(火) 5/12(水) 5/13(木)  
5/26(水) 5/27(木) 5/28(金)

講 師 竹久秀樹 受講者 32人

##### 洋画講座2

期 日 6/17(木) 6/18(金) 6/19(土)  
6/26(土) 6/29(火) 6/30(金)

講 師 根岸茂行 受講者 30人

##### 洋画講座3

期 日 7/6(火) 7/7(水) 7/8(木)  
7/13(火) 7/14(水) 7/15(木)

講 師 竹久秀樹 受講者 32人

##### 洋画講座4

期 日 7/27(火) 7/29(木) 7/30(金)

講 師 根岸茂行 受講者 29人

##### 洋画講座5

期 日 8/4(水) 8/5(木) 8/6(金)

8/18(水) 8/19(木) 8/20(金)

講 師 池田敏男 受講者 28人



#### 洋画講座6

期 日 9/8 (水) 9/9 (木) 9/10 (金)  
9/22 (水) 9/24 (金) 9/25 (土)  
講 師 濱田 清 受講者 24人



#### 洋画講座7

期 日 12/8 (水) 12/9 (木) 12/10 (金)  
12/15 (水) 12/16 (木) 12/17 (金)  
講 師 羽生智樹 受講者 34人

#### 洋画講座8

期 日 1/18 (火) 1/19 (水) 1/20 (木)  
1/25 (火) 1/26 (水) 1/27 (木)  
講 師 竹久秀樹 受講者 32人

#### 洋画講座9

期 日 2/17 (木) 2/18 (金) 2/19 (土)  
講 師 根岸茂行 受講者 25人

#### 洋画講座10

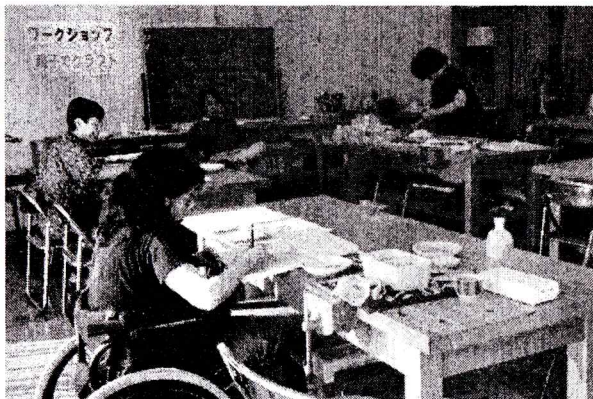
期 日 3/2 (水) 3/3 (木) 3/4 (金)  
3/9 (水) 3/10 (木) 3/11 (金)  
講 師 羽生智樹 受講者 33人

#### 水彩画講座

期 日 6/2 (水) 6/3 (木) 6/4 (金)  
6/9 (水) 6/10 (木) 6/11 (金)  
講 師 青柳光枝 受講者 28人

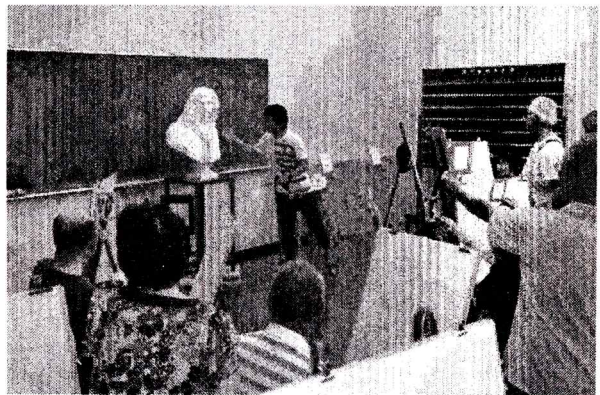
#### 日本画講座

期 日 9/9 (木) 9/10 (金) 9/11 (土)  
9/16 (木) 9/17 (金) 9/18 (土)  
講 師 中村寛治 受講者 7人



#### デッサン講座

期 日 8/21 (土) 8/22 (日)  
講 師 吉村将人・馬場祥子 受講者 35人



#### □ボランティア

美術館の活動をより円滑で充実したものとするために、ボランティアを募集し、登録者数は14名で活動した。活動は情報資料室のレファレンスを中心として、美術館活動をいろいろな側面から補助した。

#### □サポーター

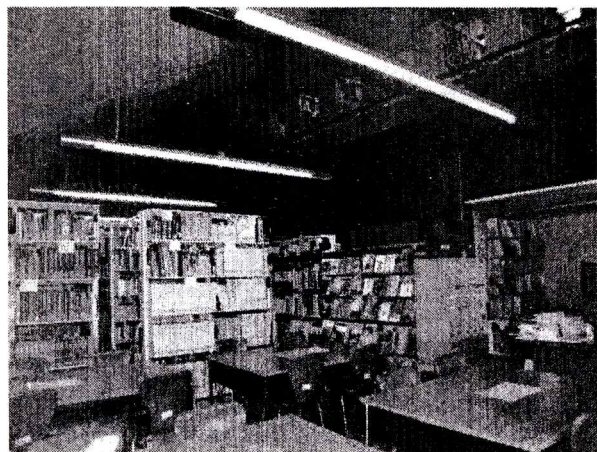
ワークショップ準備と実践のボランティアを募集し、16名がワークショップサポーターとして活動した。

#### □情報資料室

開館日の13時～16時に開室し、美術情報資料（図書、雑誌、図録等）の利用に供した。開館日数は296日、利用者は514名であった。また各地の展覧会やイベントについて、資料室前のロビー等でポスター、チラシ、案内状、雑誌等により美術情報を提供した。

なお、22年度の収蔵図書については、72冊の寄贈を受け、美術情報資料の充実を図った。

美術総記	41	絵画	21
彫刻	4	工芸	0
版画	0	書	3
写真・映像	0	デザイン・建築	1
一般図書	2		
合計	6393冊		





◇ 調 査 ・ 収 集 事 業 ◇



# 1 平成 22 年度貸出資料一覧

作家名	作品名	展覧会名	会場 会期	申請者（貸出先）
松尾敏男	「暦程」	画業 60 年 松尾敏男回顧展	名古屋栄三越 6.16 ～ 6.21 福岡三越 8.11 ～ 8.16 長崎美術館 10.6 ～ 11.14	日本経済新聞社文化事業局 名古屋栄三越 福岡三越 長崎美術館
東山魁夷	「春雪」	千住博 青の世界 —東山魁夷からの響き—	香川県立東山魁夷せとうち美術館 7.17. ～ 9.26	香川県立東山魁夷せとうち美術館
鶴田吾郎	「初秋」	荻原守衛没後 100 年記念 「新宿中村屋サロンの美術家たち - 生命の芸術表現の思潮 -」	礪山美術館 7.24 ～ 8.29	礪山美術館
津田信夫	「花瓶」 「水盤」 「海」 「煙草入」 「鳥」 「狸」 「一點玲瓏」 「少師好生」 「蛙」 「胡孫遊目」 「鳳翔薰炉」 「水牛」 「子迷家鴨」 「鴨」 「鑄銅水盤」 「竜」 「変貌七色」 「月下妖麗」 「鶴」 「閑鱗上下」 「灰皿」 「荒鷺」 「虎」 「蜻蛉耳花生」 「瓢花生」 「鯨」 「玉鱗君爐」 「唐獅子置物」 「兔」 「壺中乾坤」 「木人不近獅子吼」 「相識滿天下知心能幾人」	津田信夫展	佐倉市立美術館 8.7 ～ 9.23	佐倉市立美術館
吉岡堅二	「馬」	北方神獣	札幌芸術の森美術館 9.7 ～ 10.24	札幌芸術の森美術館



作家名	作品名	展覧会名	会場 会期	申請者(貸出先)
浅井忠	「薬屋根」	バルビゾンからの贈りもの	府中市美術館 9.18～11.23	府中市美術館
ミレー	「垣根に沿って草を 食む羊」			
塚本靖	「グレーの古城」 「ロワン河畔」	セーヌの流れに沿って	ブリヂストン美術館 10.30～12.23	ブリヂストン美術館 ひろしま美術館
中西利雄	「トリエール・ シュール・セーヌ」		ブリヂストン美術館 10.30～12.23	
都鳥英喜	「パリ郊外サンク ルー」		ひろしま美術館 23.1.3～2.27	
塚本靖	「グレー風景(ロワ ン河畔の家)」 「フォンテンブロー の釣り人」		ひろしま美術館 23.1.3～2.27	
松澤茂雄	「海辺の裸婦」 「射光」	松澤茂雄展	市川市芳澤ガーデンギャ ラリー 11.6～12.19	市川市文化振興財団
中西利雄	「曇り日の離宮と 駅」 「人物」	中西利雄と疎開した画家 展	中野区 ZERO ホール美術 ギャラリー 11.14～11.21	中西 T&T の会 中西利一郎
小堀進	「南欧の丘」	第70回記念水彩連盟展	国立新美術館 23.3.30～4.11	水彩連盟

## 2 平成22年度 新収蔵資料一覧

No	作家名	作品名	制作年	材質・技法	受入方法	寸法(縦×横) cm
1	黒沢吉蔵	遙か安達太良	2005	紙・着彩	寄附	81.0×107.0
2	櫻田精一	古都催春	1986	キャンパス・油彩	寄附	112.0×145.3
3	深沢幸雄	廃墟の貌	1955	紙・銅版	寄附	17.0×10.4
4	深沢幸雄	めし	1956	紙・銅版	寄附	25.0×18.0
5	深沢幸雄	愛鳥家	1956	紙・銅版	寄附	36.2×24.0
6	深沢幸雄	こぼれ陽	1956	紙・銅版	寄附	22.5×36.4
7	深沢幸雄	ダンテ「新曲」地獄篇より ジャンニ・スキッツ	1957	紙・銅版	寄附	36.4×29.1
8	深沢幸雄	ダンテ「新曲」地獄篇より ベルトラム・ダル・ボルニオ	1957	紙・銅版	寄附	36.0×30.0
9	深沢幸雄	腐爛圈	1960	紙・銅版	寄附	35.9×29.7
10	深沢幸雄	眼を開いた佛陀	1969	紙・銅版	寄附	53.0×36.0
11	深沢幸雄	掌の中の卵	1978	紙・銅版	寄附	75.0×50.0
12	深沢幸雄	窓ガラスの日記	1983	紙・銅版	寄附	49.4×36.0
13	深沢幸雄	彼方の天使	1984	紙・銅版	寄附	36.0×69.4
14	深沢幸雄	輪舞	1992	紙・銅版	寄附	36.0×50.7
15	深沢幸雄	笑いの芽生えるとき	1992	紙・銅版	寄附	59.0×36.0
16	深沢幸雄	いたづら天使	1992	紙・銅版	寄附	36.0×29.5
17	深沢幸雄	風紋の不死鳥	1993	紙・銅版	寄附	69.2×36.0
18	深沢幸雄	北方の聖なる詩人 B	1993	紙・銅版	寄附	74.0×49.5
19	深沢幸雄	紫煙	1993	紙・銅版	寄附	49.2×35.8

No	作家名	作品名	制作年	材質・技法	受入方法	寸法（縦×横）cm
20	深沢幸雄	月のマークのTシャツ	1993	紙・銅版	寄附	59.4 × 36.0
21	深沢幸雄	灯がともる街	1993	紙・銅版	寄附	74.4 × 49.5
22	深沢幸雄	勝利を歌う鳥	1933	紙・銅版	寄附	69.0 × 36.0
23	深沢幸雄	楽しい時間	1997	紙・銅版	寄附	59.3 × 36.0
24	深沢幸雄	休息する天使	1997	紙・銅版	寄附	36.0 × 59.5
25	深沢幸雄	街の灯	1998	紙・銅版	寄附	36.0 × 59.5
26	深沢幸雄	青い空の不死鳥	1999	紙・銅版	寄附	49.4 × 36.0
27	深沢幸雄	黄昏銀座	2000	紙・銅版	寄附	74.1 × 49.3
28	深沢幸雄	掌中劇場	2000	紙・銅版	寄附	49.3 × 36.0
29	深沢幸雄	青い壘の形	2001	紙・銅版	寄附	74.4 × 49.5
30	深沢幸雄	青い衝動	2004	紙・銅版	寄附	68.9 × 36.0
31	深沢幸雄	幼な子の夢	2008	紙・銅版	寄附	59.5 × 36.0
32	深沢幸雄	街頭の散策	2009	紙・銅版	寄附	49.4 × 36.0
33	関主税	庭	1975 頃	紙・着彩	保管換	54.0 × 60.0
34	鳩川誠一	パリの女	不詳	紙・油彩	保管換	115.0 × 76.0
35	篠崎輝夫 時田幸彦 高橋規矩治郎	県庁ロビー「恵み」エスキース	1995	キャンバス・油彩	保管換	114.0 × 99.8

### 3 平成 22 年度 収蔵資料数一覧（平成 23 年 3 月 31 日現在）

#### 《収蔵資料》

受入方法	購 入	寄 付	保管替	合 計
日本画	128	178	26	332
洋 画	355	533	41	929
彫 刻	83	49	11	143
工 芸	149	244	10	403
書	110	163	14	287
版 画	175	106	5	286
合 計	1,000	1,273	107	2,380

#### 《研究資料》

研究資料	244	1,320	53	1,617
------	-----	-------	----	-------



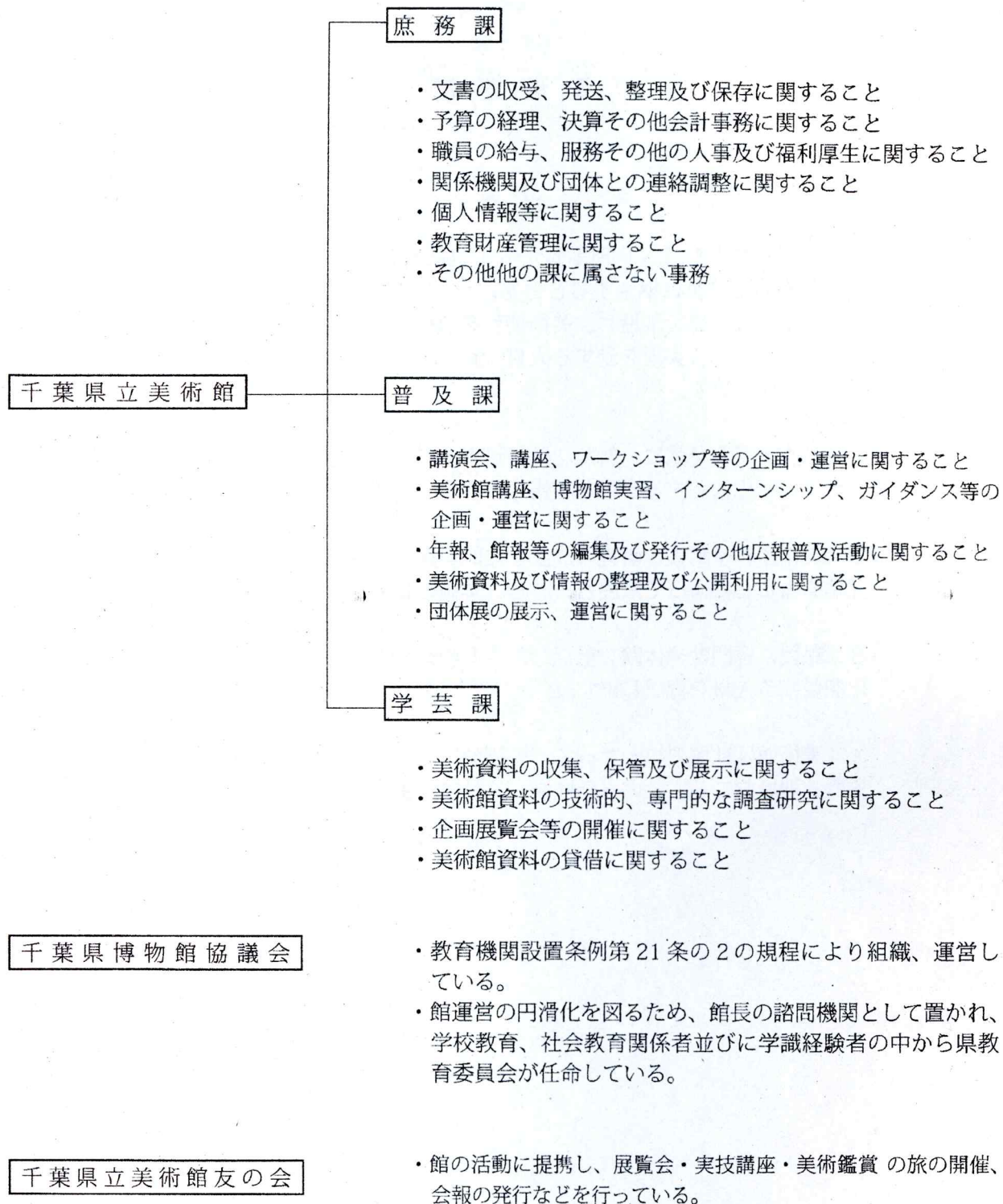
## ◇ 管 理 運 営 ◇

## ◇ 使 命 ◇

千葉県立美術館は、千葉県ゆかりの美術資料を中心として体系的に収集、保管して後世に継承するとともに、「みる、かたる、つくる」活動により新たな知見を創造し、美術情報を発信します。さらに、この美術活動をとおして、美術を愛する人材を育成し、県民の学習および地域づくりを支援します。

1. 調査・研究を基に、新たな美術資料の発見と価値を見出し、千葉県の美術・文化に関する資料を収集・保存して、後世に伝えます。
2. 美術資料や調査・研究の成果を知的資産として蓄積し、その情報を発信することによって県民と共有し、美術の振興と発展に寄与します。
3. 県民に専門性や体験を重視した生涯学習の機会を提供し、美術や文化を愛する人材を育成します。
4. 美術館は地域の核となって、美術をとおしてまちづくり、地域文化振興、地域おこし、といった地域づくりを支援します。

## 1 組 織



## 2 平成 22 年度職員

館 長	大 熊 一 行
副 館 長	大 石 井 一 正
副 館 長	森 尚 登

### 庶務課

副 主 幹	常 泉 尚 男
主 査	高 木 清 幸
主 査	岸 部 俊 哉
副 主 査	森 田 樹 子
主任用務員	長 島 則 子

### 普及課

普 及 課 長	渡 邊 修 一
上席研究員	相 川 順 子
上席研究員	荒 井 喜代美
研 究 員	東 健 一

### 学芸課

学 芸 課 長	金 田 雅 成
上席研究員	谷 鹿 栄 一
上席研究員	中 松 れ い
上席研究員	石 崎 千津子
研 究 員	高 山 順 子

### 3 利用状況

平成 22 年度入館者一覧表

	開館 日数	入場 者計	個 人									
			計	有 料			無 料					
				計	一般	高・大生	計	一般	高・大生	小・中生	65歳以上	その他
4月	26	6,777	6,618	609	582	27	6,009	3,124	41	133	2,521	190
5月	26	14,285	13,351	2,135	2,071	64	11,216	5,029	145	531	4,865	646
6月	26	8,495	8,178	637	617	20	7,541	3,877	55	349	3,045	215
7月	27	10,480	10,213	850	792	58	9,363	4,256	110	1,102	3,435	460
8月	26	14,829	14,560	998	938	60	13,562	5,427	498	2,878	3,893	866
9月	26	8,587	8,241	876	817	59	7,365	3,600	187	253	3,039	286
10月	23	14,398	14,126	339	331	8	13,787	7,634	104	342	5,348	359
11月	24	10,784	10,397	118	113	5	10,279	5,197	778	576	3,544	184
12月	23	34,993	34,891	645	615	30	34,246	12,738	212	10,046	8,938	2,312
1月	23	5,907	5,769	718	683	35	5,051	2,516	61	131	2,162	181
2月	24	12,434	11,902	935	884	51	10,967	4,841	267	1,028	3,936	895
3月	22	4,853	4,776	470	449	21	4,306	2,181	91	121	1,793	120
計	296	146,822	143,022	9,330	8,892	438	133,692	60,420	2,549	17,490	46,519	6,714

	開館 日数	団 体										
		計	有 料			無 料						団体
			計	一般	高・大生	計	一般	高・大生	小・中生	65歳以上	その他	
4月	26	159	79	79	0	80	58	0	0	22		4
5月	26	934	129	129		805	197	0	14	594		28
6月	26	317	51	51		266			52	168	46	7
7月	27	267	47	47		220	2	26	60	132		7
8月	26	269	97	75	22	172	31		68	70	3	7
9月	26	346	65	65		281	19		26	236		9
10月	23	272	0			272	118			110	44	8
11月	24	387	0			387	86	60	114	109	18	7
12月	23	102	25	4	21	77	5		72			4
1月	23	138	29	29		109	1			49	59	4
2月	24	532	0			532	56		24	20	432	8
3月	22	77	42	42		35	21			14		3
計	296	3,800	564	521	43	3,236	594	86	430	1,524	602	96



#### 4 平成 22 年度団体展一覧

展覧会名	利用期間	展示内容	出品点数
1 第 25 回 日本画四季展	3 / 30 ~ 4 / 11	日本画	71
2 第 26 回 千葉県日本水彩展	4 / 6 ~ 4 / 11	水彩画	251
3 第 24 回 千葉水彩展	4 / 13 ~ 4 / 18	水彩画	71
4 第 80 回 郷陽会展	4 / 13 ~ 4 / 18	洋画	236
5 第 24 回 ガラス絵コクリコ会展	4 / 13 ~ 4 / 18	ガラス絵	83
6 msb2010chiba36th 展	4 / 20 ~ 4 / 25	洋画・日本画・デザイン・工芸等	51
7 第 37 回 千葉新協美術展	4 / 20 ~ 4 / 25	洋画・日本画・版画	179
8 第 24 回 カラーダスト展	4 / 27 ~ 5 / 5	洋画	54
9 第 36 回 歩会彫刻展	4 / 27 ~ 5 / 9	彫刻	40
10 第 41 回 表美展	5 / 7 ~ 5 / 9	表装	53
11 第 34 回 墨の県展	5 / 11 ~ 5 / 16	水墨画	373
12 第 50 回 千葉アマチュア美術会展	5 / 18 ~ 5 / 23	洋画・日本画・版画・書・彫刻・俳画・工芸等	1169
13 第 55 回 二科会千葉支部展	5 / 25 ~ 5 / 30	洋画	569
14 第 36 回 獺展	5 / 25 ~ 5 / 30	絵画・立体・工芸・写真	35
15 第 57 回 千葉県書道協会展	6 / 1 ~ 6 / 6	書道	458
16 第 32 回 新槐樹社千葉県支部展	6 / 8 ~ 6 / 13	洋画・陶芸・彫刻・版画等	33
17 第 40 回 新構造千葉支部展	6 / 8 ~ 6 / 13	絵画・写真・工芸	163
18 第 13 回 千葉多摩美会展	6 / 15 ~ 6 / 20	油画・日本画・デザイン・工芸等	70
19 第 33 回 千葉一陽展	6 / 15 ~ 6 / 20	油画	120
20 第 38 回 水彩連盟千葉支部展	6 / 22 ~ 6 / 27	水彩画	146
21 第 14 回 仲間達展	6 / 22 ~ 6 / 27	油画・水彩画・版画・デッサン等	47
22 千葉県小中学校書写展覧会	6 / 29 ~ 7 / 4	書道	800
23 第 55 回 千葉二紀展	6 / 29 ~ 7 / 4	油画	82
24 第 21 回 千葉県木彫会展	6 / 29 ~ 7 / 4	彫刻	49
25 第 42 回 千葉市水墨画同好会連合会展	7 / 6 ~ 7 / 19	水墨画	555
26 第 39 回 写真千葉県展	7 / 21 ~ 8 / 1	写真	331
27 第 18 回 三軌会千葉支部展	7 / 21 ~ 7 / 25	絵画・写真	151
28 第 19 回 玄鳥書院展	7 / 21 ~ 7 / 25	書道	38
29 第 42 回 習美会初夏大作展	7 / 27 ~ 8 / 1	洋画・日本画・水墨画	286
30 第 27 回 千葉県医師会美術展	7 / 27 ~ 8 / 1	油画等	98
31 平成 22 年度千葉県特別支援学校作品展	8 / 3 ~ 8 / 8	造形・絵画・写真・書道	368
32 第 42 回 第一美術協会第 42 回千葉県支部展	8 / 3 ~ 8 / 8	絵画・彫刻・工芸	139
33 第 39 回 千葉硯心会書	8 / 3 ~ 8 / 8	書道	46
34 第 44 回 漱雲会全国書道展	8 / 3 ~ 8 / 8	書道	356
35 第 40 回 いてふ会彫刻展	8 / 10 ~ 8 / 22	彫刻	79
36 第 27 回 「美しい郷土」絵画コンクール	8 / 17 ~ 8 / 22	小・中学生絵画等	686
37 第 20 回 記念太平洋美術会千葉支部展	8 / 17 ~ 8 / 22	油画・水彩画・版画・彫刻・染織	196
38 第 7 回 なの花書道展	8 / 17 ~ 8 / 22	書道	133
39 第 50 回 白扇書道会展	8 / 24 ~ 8 / 29	書道	2691

40 第 48 回	新世紀千葉支部展	8 / 31 ~ 9 / 5	油画・水彩画・版画	57
41 第 27 回	千葉中美展	8 / 31 ~ 9 / 5	油画・水彩画・日本画	203
42 第 35 回	葉美会展	8 / 31 ~ 9 / 5	油画等	94
43 第 7 回	日本春秋書院千葉書道団展	9 / 7 ~ 9 / 12	書道	163
44	千葉県高等学校総合文化祭第 43 回合同写真展	9 / 7 ~ 9 / 12	写真	833
45 第 35 回	陽画会油絵展	9 / 7 ~ 9 / 12	油画	70
46 第 60 回	記念千葉デザイン展 2010	9 / 14 ~ 9 / 26	デザイン	210
47 第 57 回	千葉県勤労者美術展	9 / 14 ~ 9 / 20	絵画・書・写真	199
48 第 33 回	千葉県写真展	9 / 14 ~ 9 / 26	写真	302
49 第 22 回	平和を願う美術展	9 / 22 ~ 9 / 26	油画・水彩画・日本画・水墨画・版画・写真・ 彫刻・工芸・陶芸・インスタレーション	272
50 第 33 回	等迦会千葉県支部展	9 / 28 ~ 10 / 3	油画	30
51	二科会写真部第 30 回千葉支部展	9 / 28 ~ 10 / 3	写真	103
52 第 21 回	千葉県教育芸術祭	10 / 5 ~ 10 / 11	総合芸術	1027
53 第 62 回	千葉県美術展覧会 (県展)	10 / 16 ~ 11 / 7	洋画・日本画・工芸・彫刻・書道	2673
54 第 22 回	千葉県高等学校総合文化祭「美術工芸書道作品展」	11 / 10 ~ 11 / 21	絵画・工芸・書道	2831
55 第 42 回	千葉現展	11 / 23 ~ 11 / 28	絵画・デザイン・工芸等	58
56 第 37 回	文化書道千葉県連合会公募展覧会	11 / 23 ~ 11 / 28	書道	320
57 第 22 回	創造美術会千葉支部展	11 / 23 ~ 11 / 28	洋画・日本画・染織画・彫刻・陶芸	75
58 第 6 回	伝統工芸陶葉会展	11 / 23 ~ 11 / 28	陶芸	89
59 第 55 回	こども県展 (平成 22 年度千葉県児童生徒美術展覧会)	11 / 30 ~ 12 / 12	水彩画	9400
60 第 58 回	書星展	12 / 14 ~ 12 / 19	書道	771
61	ハングル書道・韓国伝統文化展	12 / 21 ~ 12 / 26	ハングル書道	155
62 第 38 回	富士百景写真展	1 / 5 ~ 1 / 10	写真	115
63 第 46 回	登龍社書初展	1 / 5 ~ 1 / 10	書道	231
64 第 11 回	東方国際美術展	1 / 18 ~ 1 / 23	水墨画・書	188
65	了徳寺大学芸術学部卒業制作展	1 / 25 ~ 1 / 30	絵画等	50
66 第 9 回	陶友会合同作品展	2 / 1 ~ 2 / 6	陶芸	282
67 第 36 回	子ども造形展	2 / 1 ~ 2 / 6	油画等	1495
68 第 29 回	群鴫書人展	2 / 1 ~ 2 / 6	書道	42
69	千葉大学教育学部美術科・図工科卒業制作展	2 / 8 ~ 2 / 13	絵画・彫刻・構成	74
70	千葉大学教育学部第 45 回学生書道展	2 / 8 ~ 2 / 13	書道	175
71 第 63 回	千葉県小・中・高校書き初め展	2 / 8 ~ 2 / 13	書道	407
72 第 37 回	千葉日報書道展	2 / 15 ~ 2 / 20	書道	489
73 第 16 回	翔洋展	2 / 22 ~ 2 / 27	油画	33
74 第 22 回	日本童謡の書展	2 / 22 ~ 2 / 27	書道	1941
75 第 40 回	千葉県大学美術連盟展	3 / 1 ~ 3 / 6	絵画・立体造形	88
76 第 35 回	千葉県民写真展	3 / 1 ~ 3 / 6	写真	715
77 第 34 回	唱和会書展	3 / 8 ~ 3 / 13	書道	43
78 第 14 回	平成美術会展	3 / 8 ~ 3 / 13	油画	164
79	ダネラ全国展	3 / 8 ~ 3 / 13	絨毯タペスリー等手工芸	63
80 第 6 回	千葉水墨画展	3 / 23 ~ 3 / 27	水墨画	289



## 5 施 設

この建物は、幾つかの建設候補地の中から、千葉港に隣接した臨海埋立地の一角に計画された。計画着手当時はこの付近は訪れる人も少なく、海を通して石油基地のタンク群や工場と煙を吐き出す煙突が望める環境であった。

このような当初の環境下で、空気汚染、降下煤塵そして塩害など、建物に与える悪影響が予測されるために、材料の選択、構法、空調計画等は十分な検討がなされた。以下、主な部分について記す。

### 外壁の打込みタイル・先積ブリック工法

従来の外壁をコンクリートで表現している建物とは異なり、珧器質タイルを型枠代にしてコンクリートを一体に打ち込む工法を用いた。

使用したタイルは従来の断面と異なり、コの字型の断面をしており、型枠にセットせずモルタルにて積上げられるように見込み寸法を5cmの厚みにしてある。

施工方法は、内型枠、配筋工程の次のタイルを積み5段毎に型枠のホームタイを通し、2,400mm程度まで積み上げ単管にて固定する。この2,400mmの高さは、設計段階での試作実験にて安全を確認した数値である。試作段階での支保工は、縦方向に角材を400ピッチに通し、横方向に単管を480ピッチに通し固定したが、施行時は、縦方向に単管を480ピッチに通して固定した。コンクリートの打設は、1.5m～2.0m/hの速度を目標に行い、ポンプにて打設可能な程度までスランプを下げた。この工程を繰返しタイル壁面を構成していった。

タイル面の施工時の汚れ防止には、ふのりを塗布した。タイルの目地は積み上げる工程で仕上げられ、表面に表われない目地の空隙にコンクリートのノロがしみ込んでゆき、目地からの滲透水を防げ満足する状態に仕上がった。

### 屋根の天然スレート

前述のような環境のもとで、勾配屋根に適し、十分にもちこたえられる材料としては耐候性鋼等が考えられたが、調査の結果により天然スレートを使用した。

### 空調計画

計画当初より、良好とはいえない外部環境から美術品をいかに保護するかが、海浜に建つ美術館として、ひとつの重要なテーマだった。外気取入れは、内部に自動巻取りフィルター、中性能フィルター、脱臭フィルターの3種類の空気清浄フィルターを組込んだ外気処理器を通して供給されている。

展示棟はCAV（定風量型）＋VAV（可変風量型）方式により計画されている。わが国の美術館は、平常の館内利用者に対して特別展や団体展等のときに非常に利用者がふえて、発熱負荷の変動が大きくなる。VAV方式は、こういった条件に対して非常に効果的であるといえる。

管理棟は、エネルギーの省力化にも役立つVAV方式を採用し、収蔵庫は、露点再熱制御方式により二つの条件の異なる収蔵庫を2台の空調機で空調されている。

### 照明計画

展示壁面は、自然光源と人工光源とにより全体計画されている。

自然光源は展示棟の高窓から取り入れられ、外部の溝型ガラスと内部の紫外線吸収の亚克力拡散板を経て壁面に達する。しかし、太陽直射光の鉛直面照度は8時から15時の間で10%の時間が80,000lx以上、30%の時間が50,000lx以上、50%の時間が25,000lx（平均）以上、90%の時間が5,000lx以上という測定値があり、また水平面照度にしても50,000lx（薄暗）から5,000lx（曇天）の範囲と非常に明るい。このように必要以上に明るい光源は、調光通路内に設けられた2枚の電動スクリーン（これは、計算値により鉛直面照度60,000lx以上の条件のとき必要な枚数で、それぞれ異なった透過率を有する布を使用した）にて基準の壁面照度になるよう調光される。

計算値による透過率をもつクロスでの何回かの現場実験の結果、クロスは白地のポリエステル（透過率53.6%）と黒地のジョーゼット（透過率35%）の2枚を採用した。ここで留意すべき点は、クロスの遮光性能を良くするために、厚地の布や、コーティングされた布を使用すると壁面に色がつくことがある。壁面の照度分布の状態は、視覚的に均一な壁面が確保できた。

曇天・雨天に対しては、蛍光灯と白熱灯を補助照明として設置した。蛍光灯と白熱灯を併用したのは、演色性を高めるためである。

第1、2展示室は、すべて蛍光灯と白熱灯による人工光源で計画されている。壁面照度は、最高200lxに押えてある。

固定ケースは基準照度を180lxに設定した。照明方法は、全面アルミルーバーの天井ふところに蛍光灯を2本並列させ、その間に白熱灯2個を配置した。

〈設計及び工事監理者〉

大高建築設計事務所

〈施工者〉

建築：（株）竹中工務店

設備：空調＝東洋熱工業（株）

衛生＝第一管工事（株）

電気＝関東電気工事（株）

備品：天童木工、山口木工、佐々木ブラインド

〈都市計画地域指定〉

用途地域：準工業地域

〈規模・面積〉

敷地面積	33,057.87㎡
建築面積	8,777.94㎡
延床面積	10,663.57㎡
展示棟	6,343.02㎡
管理棟	2,818.89㎡
県民アトリエ棟	1,501.66㎡
駐車台数	96台（うち2台は身体障害者用）

〈工期及び建設経費〉

(1) 第1期工事（展示棟）5,194.59㎡

（建築面積5,102.35㎡）

○工 期 昭和47年9月20日～昭和49年3月31日

工事費 775,967千円

本体工事 425,230千円

電気設備工事 79,663千円

空調設備工事 166,493千円

給排水衛生設備工事	28,995 千円
外溝工事	67,705 千円
ガス工事	7,881 千円

(2) 第2期工事(管理棟) 2,274.60㎡

(建築面積 1,089.50㎡)

○工 期 昭和50年3月1日～昭和51年2月20日

工事費 453,800 千円

本体工事	307,500 千円
電気設備工事	30,000 千円
空調設備工事	79,000 千円
給排水衛生設備工事	19,514 千円
外溝工事	17,786 千円

(3) 第3期工事(県民アトリエ) 1,501.66㎡

(建築面積 1,449.34㎡)

○工 期 昭和54年3月22日～昭和55年2月29日

工事費 370,000 千円

本体工事	265,300 千円
電気設備工事	35,000 千円
空調設備工事	56,200 千円
給排水衛生設備工事	13,500 千円

○工 期 昭和55年12月25日～昭和56年3月24日

工事費 8,000 千円

外構工事 8,000 千円

(4) 第4期工事(第8展示室 1,148.43㎡

収蔵庫 544.29㎡) 1,692.72㎡

(建築面積 1,136.75㎡)

○工 期 昭和62年7月11日～昭和63年8月31日

工事費 747,500 千円

本体工事	476,000 千円
電気設備工事	81,000 千円
空調設備工事	171,000 千円
給排水衛生設備工事	19,500 千円

総工事費 2,355,267 千円

工期別面積一覧

区分	地階	1 階	2 階	塔屋	合計
第1期	325.04	4,750.79	61.00	57.76	5,194.59
第2期	—	1,185.10	1,089.50	—	2,274.60
第3期	—	1,403.15	98.51	—	1,501.66
第4期	15.46	1,132.97	544.29	—	1,692.72
合計	340.50	8,472.01	1,793.30	57.76	10,663.57

〈概要〉

建物

【階数】

地下1階、地上2階、塔屋1階建

【高さ】

基礎底：GL - 5.00m

高 さ：GL + 15.20m

【構造】

主体構造：鉄筋コンクリート造

屋 根：鉄骨造

主 鋼 材：SS41 及び高張力鋼

コンクリートの種類

A 種・普通コンクリート(基礎・地中梁・1階スラブ)

$F_c = 210\text{kg}/\text{cm}^2$

B 種・軽量コンクリート(梁・スラブ用・地上部)

$F_c = 300\text{kg}/\text{cm}^2$

C 種・軽量コンクリート(地上部躯体でAB以外の梁・壁など)

$F_c = 240\text{kg}/\text{cm}^2$

〈設備〉

【電気設備】

受電方式：交流3相3線式 6,000V 50Hz

電話交換方式：64回線デジタル交換機方式

【空調設備】

展示棟 = CAV(定風量型) + VAV(可変風量型)方式

管理棟 = VAV方式

保管庫 = 露点再熱制御方式

県民アトリエ棟 = 各室ハンドリング方式

熱 源：空気熱源スクリュウ熱回収ヒートポンプ方式

【衛生設備】

給 水：ポンプ圧送方式、引込み管径75mm

排 水：汚水・雑排水合流方式系統(管径300)、雨水系統(管径300)別、公設本管へ放流

【防災設備】

排煙方式：自然排煙、機械排煙(第1、2、7展示室)

消火方式：屋外・屋内消火栓、不燃性ガス消火設備(ハロゲン1301)

自家発電：ディーゼル機関直結交流発電機、定格出力100kVA

火災報知設備：P型1級自動火災報知設備

【その他の設備】

防犯設備：ITVカメラ設備、防犯警報装置

昇降機設備：荷物用エレベーター

規 模：容量3,000kg

カゴ内法 = 3,000mm × 3,000mm × 3,000mm

速度 30m/min



## 展示棟

玄関ホール	102.40㎡
クローク	91.80㎡
倉庫A	2.70㎡
倉庫B	2.70㎡
第1展示室	437.76㎡
第2展示室	400.32㎡
第3展示室	469.08㎡
第4展示室	403.20㎡
第5展示室	824.19㎡
第6展示室	330.58㎡
第7展示室	566.56㎡
第8展示室	864.61㎡
食堂	119.52㎡
厨房	36.00㎡
従業員控室	17.28㎡
食堂ホール	49.20㎡
ミュージアムショップ	12.00㎡
ロビー	335.52㎡
第1休憩室	23.04㎡
第2休憩室	23.04㎡
第3休憩室	23.04㎡
便所A	30.24㎡
便所B	23.76㎡
身障者用便所	7.92㎡
コントロール室	20.16㎡
フィルター室	28.92㎡
工作室	31.00㎡
発電気室	25.00㎡
電気室	123.20㎡
ポンプ室	76.80㎡
機械室	305.20㎡
機械室(新)	283.82㎡
高架水槽室	11.46㎡
E. V機械室	27.28㎡
E. V廻り	54.56㎡
ダクトスペース	35.68㎡
廊下等	123.48㎡

計① 6,343.02㎡

## 管理棟

(1階)

第2会議室	22.62㎡
更衣室	14.38㎡
医務室	21.18㎡
書庫	22.02㎡
警備員室	43.59㎡
第1会議室	20.15㎡
倉庫	7.19㎡
湯沸室	5.19㎡
便所	24.54㎡
宿直室	34.20㎡
物置	9.92㎡
用務員室	31.83㎡
審査室・資料準備室・荷解室	520.68㎡
消毒室	31.79㎡
資料倉庫	124.25㎡
荷解梱包室	52.67㎡
荷扱入室	21.94㎡
機械室	51.74㎡
廊下等	123.97㎡

小計 1,183.85㎡

(2階)

館長室	33.27㎡
副館長室	23.42㎡
第1応接室	14.67㎡
第2応接室	14.55㎡
庶務課室	112.34㎡
会議室	43.84㎡
学芸課・普及課室	195.32㎡
学芸相談室	23.91㎡
研究工作室	216.49㎡
写真スタジオ	54.30㎡
器材室	6.74㎡
暗室	12.19㎡
第1収蔵室	184.40㎡
第2収蔵室	42.81㎡
第3・4収蔵室	544.29㎡
E. V前室	16.39㎡
便所	21.50㎡
湯沸室A	3.24㎡
" B	6.87㎡
廊下等	60.94㎡
ダクトスペースその他	3.56㎡

小計 1,635.04㎡

計 ② 2,818.89㎡

## 県民アトリエ棟

1F機械室	25.92㎡
講堂倉庫	8.64㎡
講堂	259.24㎡
コントロール室	30.33㎡
ホール側便所	29.97㎡
情報資料室	172.77㎡
情報資料室倉庫	4.70㎡
事務室	22.76㎡
研修室	74.70㎡
研修室倉庫	4.23㎡
第1アトリエ	155.70㎡
第2アトリエ	184.31㎡
第3アトリエ	95.47㎡
アトリエ側便所	20.77㎡
荷解室	25.65㎡
窯場	27.17㎡
窯場倉庫	6.66㎡
ホールその他	352.67㎡

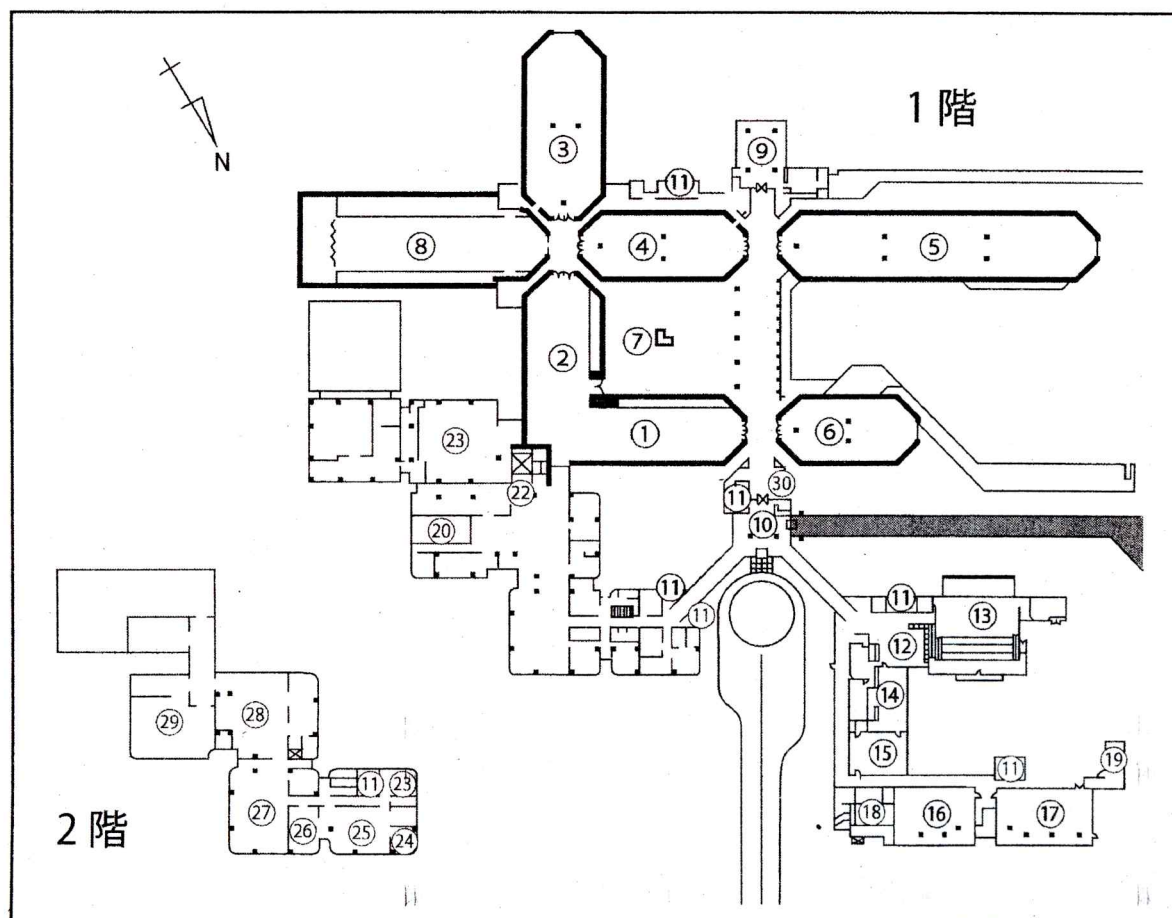
計 ③ 1,501.66㎡

合計 10,663.57㎡

(①+②+③)

〈参考〉

*展示室総面積	4,296.30㎡
*収蔵庫総面積	771.50㎡



- |              |   |            |
|--------------|---|------------|
| 内容           | ⑳ | 搬出入口       |
| ①～⑧ 展示室      | ㉑ | 機械室        |
| ⑨ 食堂 (44 席)  | ㉒ | エレベーター     |
| ⑩ 玄関ホール      | ㉓ | 館長室        |
| ⑪ トイレ        | ㉔ | 副館長室       |
| 男子用 6 ヶ所     | ㉕ | 庶務課        |
| 女子用 6 ヶ所     | ㉖ | 会議室        |
| 身障者用 2 ヶ所    | ㉗ | 学芸課・普及課    |
| ⑫ ホール        | ㉘ | 研究工作室      |
| ⑬ 講堂 (200 人) | ㉙ | 収蔵庫        |
| ⑭ 情報資料室      | ㉚ | ミュージアムショップ |
| ⑮ 研修室 (40 人) |   |            |
| ⑯ 実技室        |   |            |
| ⑰ 窯場         |   |            |



## ■平成 22 年度利用案内

### ■開館時間

開館時間

午前9時から午後4時30分

休館日

- ・月曜日（ただし、月曜日が祝日のときは開館し、翌日休館）
- ・年末年始（12月28日～1月4日）
- ・10月10日～12日、23・24日、11月6日

### ■入場料（※（）内は20名以上の団体料金）

常設展

一般	300円（240円）
高校・大学生	150円（120円）
小・中学生	無料
65歳以上	無料

「不破章展 旅・ひと・自然—水彩画の即興詩を歌う」

一般	500円（400円）
高校・大学生	250円（200円）
小・中学生	無料
65歳以上	無料

### ■交通

電車・モノレール・バス

★JR（京葉線）・千葉都市モノレール

「千葉みなと」駅下車、徒歩8分

★JR「千葉」駅・京成線「京成千葉」駅下車

●徒歩23分

●JR「千葉」駅東口⑩番のりばから「千葉みなとループバス」にて、「千葉中央警察署」下車、徒歩5分

自動車

★〈東京方面から〉

東関東自動車道「湾岸習志野」ICから約20分

★〈成田方面から〉

京葉道路「穴川」ICから約20分

★〈東金方面から〉

京葉道路「松ヶ丘」ICから約20分

平成 22 年度 千葉県立美術館年報 (No.37)

発行日 平成 24 年 3 月 15 日

発行者 千葉県立美術館

〒 260-0024

千葉市中央区中央港 1 丁目 10 番 1 号

TEL 043(242)8311

FAX 043(241)7880

URL <http://www.chiba-muse.or.jp/ART/>







